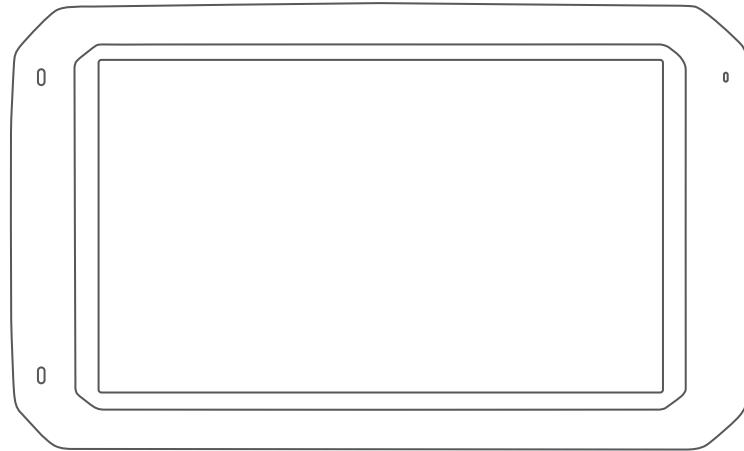


GARMIN[®]



OVERLANDER™

操作マニュアル

© 2019 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin®、Garmin ロゴ、Fusion®、および inReach® は、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。BC™、Fusion-Link™、Garmin Express™、Garmin Explore™、Garmin PowerSwitch™、myTrends™、および Overlander™ は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Android™ は Google Inc.の商標です。Apple®、iPhone®、および Mac® は米国およびその他の国における Apple Inc.の登録商標です。Bluetooth®ワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、Garmin 社はライセンスに基づきこの名前を使用しています。Foursquare® は、Foursquare Labs, Inc.の米国およびその他の国における商標です。HD Radio™技術は、iBiquity Digital Corporation からのライセンスに基づき開発されています。特許については、<http://patents.dts.com> を参照してください。HD Radio™と HD、HD Radio、および「ARC」ロゴは、米国および/またはその他の国における iBiquity Digital Corporation の登録商標です。HISTORY®および H ロゴは、A+E Networks の商標であり、米国およびその他の国で保護されています。All rights reserved. 許可を得て使用。iOverlander™ は iOverlander の商標です。microSD® は SD-3C の商標です。PlanRV™ は、TruckDown Info International, Inc.の商標です。TripAdvisor® は、TripAdvisor LLC の登録商標です。Ultimate Campgrounds™ は、The Ultimate Public Campground Project の商標です。Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance の登録商標です。Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

目次

はじめに	1
デバイスの概要	1
車両へのデバイスの取り付けと電源の供給	3
ボールマウントアダプターの取り付け	5
デバイスの電源をオンまたはオフにする	6
GPS 信号を捕捉する	6
メイン画面	7
アプリの起動	7
ショートカットをホーム画面に追加する	7
通知の表示	8
ステータスバーアイコン	8
タッチスクリーンを使用する	8
画面の輝度を調整する	8
車両プロファイル	9
乗用車プロファイル	9
車両プロファイルを追加する	9
車両プロファイルの切り替え	9
車両プロファイルを編集する	9
ドライバーへの注意喚起の機能とアラート	10
オーディブルドライバーアラートを有効または無効にする	10
赤信号カメラとスピードカメラ	10
道路のナビゲーション	11
ルート	11
ナビゲーションを開始する	11
地図を使用してナビゲーションを開始する	11
帰宅する	11
自宅の場所を編集する	11
地図上のルート	12
アクティブ車線案内	13
方向転換と方向指示を表示する	13
地図にルート全体を表示する	13
目的地に到着する	13
目的地の近くの駐車場	14
アクティブルートを変更する	14
ルートに場所を追加する	14
ルートを形成する	14
迂回路を検索する	15
ルート探索方法を変更する	15
ナビゲーションを停止する	15
推奨ルートを利用する	15
遅延、有料道路、およびエリアを回避する	15
ルート上の交通遅延を回避する	15
有料道路を回避する	16
有料ステッカーを回避する	16
道路の回避機能	16
環境ゾーンを回避する	16
カスタム回避	16
道路を回避する	17
エリアを回避する	17
カスタム回避を無効にする	17
カスタム回避を削除する	17
位置の検索と保存を行う	17
ジャンル別施設	17
Garmin Explore の場所へのナビゲーション	18
カテゴリーを入力して位置を検索する	18
カテゴリー内を検索する	18
キャンプ場の検索	18
RV 駐車場を検索する	18
Ultimate Campgrounds ジャンル別施設 (POI) を検索する	18
RV サービスを検索する	18
国立公園を検索する	19
国立公園の機能と施設を探索する	19
iOverlander™ ジャンル別施設 (POI) を検索する	19
HISTORY® ジャンル別施設 (POI) を検索する	19
Foursquare	19
Foursquare のジャンル別施設を検索する	19
TripAdvisor®	20
TripAdvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する	20
場所内のジャンル別施設にナビゲーションする	20
場所の探索	20
検索バーを使用して位置を検索する	21
住所を検索する	21

場所検索の結果	22	軌跡ログを表示する	30
地図上の場所検索結果	23	トリップ情報をリセットする	31
検索エリアを変更する	24	進行方向の交通事故を表示する	31
カスタム POI (ジャンル別施設)	24	地図上に交通渋滞情報を表示する	31
POI Loader をインストールする	24	交通事故情報を検索する	31
カスタム POI を検索する	24	地図をカスタマイズする	31
駐車場	24	地図レイヤーをカスタマイズする	31
現在の場所近くの駐車場を検索する	25	地図データフィールドを変更する	31
駐車場の色分けと記号について	25	地図表示方法を変更する	31
検索ツール	25		
交差点を検索する	25		
座標を使用して位置を検索する	25		
最近検索した位置を表示する	25		
最近検索した場所のリストを消去する	25		
現在地情報を表示する	25		
緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する	26		
現在地への道順を表示する	26		
ショートカットを追加する	26		
ショートカットを削除する	26		
位置を保存する	26		
位置を保存する	26		
現在地を保存する	26		
保存した位置を編集する	27		
保存した位置にカテゴリーを割り当てる	27		
保存した位置を削除する	27		
ストリートマップを使用する	27		
地図ツール	28	Garmin Explore	32
地図ツールを表示する	28	Garmin Explore アカウントへのログイン	33
この先	28	[地図]	33
この先の場所を表示する	28	Garmin Explore 地図をダウンロード中	33
[この先]カテゴリーをカスタマイズする	28	地図データのフィルタリング	33
警告およびアラート記号	29	Garmin Explore 地図設定	33
制約に関する警告	29	ウェイポイントを作成する	34
道路状況に関する警告	30	ルートを作成する	34
アラート	30	ライブラリ	34
トリップ情報	30	ライブラリの表示	34
地図からトリップデータを表示する	30	保存されている位置のナビゲーション	34
トリップデータフィールドをカスタマイズする	30	コレクションの作成	34
トリップ情報ページを表示する	30	コレクションの表示	34
		Garmin Explore アカウントデータの同期	35
		メモリーカードを使用した GPX ファイルのインポート	35
		メモリーカードを使用した GPX ファイルのエクスポート	35
		トラックの記録	35
		トラッキング間隔の変更	35
		トラッキングの停止	36
		ピッチとロール	36
		ピッチとロールの校正	36
		警告角度の調整	36
		警告角度アラートを有効または無効にする	36
		高度計、気圧計、コンパスの表示	36
		コンパスを校正する	37
		inReach リモート	37
		inReach デバイスの接続	37
		inReach メッセージの送信	37

SOS.....	37	再生コントロール.....	44
SOS 救助の開始.....	38	オーディオコントロール.....	44
SOS 救助のキャンセル.....	38	ゾーンの音量の調整.....	44
ハンズフリー通話.....	38	トーンを調整する.....	44
電話をペアリングする.....	38	ゾーンの大音量設定を無効にする.....	44
デバイスをペアリングした後のヒント.....	39	補助デバイスのゲインを調整する.....	45
追加 Bluetooth デバイスのペアリング.....	39	スピーカーゾーン.....	45
電話をかける.....	39	DSP 設定.....	45
電話を受ける.....	39	プリセット.....	46
通話中オプションを使用する.....	39	放送局をプリセットとして保存する.....	46
電話番号をプリセットとして保存する.....	40	プリセットをリストから選択する.....	46
Bluetooth デバイスの取り外し.....	40	プリセットを削除する.....	46
ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する.....	40	オーディオ設定.....	46
ペアリングした電話を削除する.....	40	スピーカーゾーンの設定.....	46
[トラフィック]	40	Garmin PowerSwitch™ アプリ.....	47
トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する.....	41	電源スイッチの有効化.....	48
トラフィックを有効にする.....	41	すべてのスイッチをオフにする.....	48
地図上に交通渋滞情報を表示する.....	41	ボタンのカスタマイズ.....	48
交通事故情報を検索する.....	41	スイッチを制御入力へ割り当てる.....	48
音声コマンド.....	41	カスタムレイアウトの追加.....	48
ウェイクアップフレーズを設定する ...	41	カスタムレイアウトへボタンを追加する.....	49
音声コマンドを有効化する	42	カスタムレイアウトでのボタンの配置.....	49
音声コマンドのヒント	42	カスタムレイアウトまたはボタンの削除.....	49
音声コマンドを使用してナビゲーションを開始する	42		
ミュートの手順.....	42		
アプリケーションを使用する	42	Overlander 設定.....	50
デバイスのマニュアルの表示.....	42	ナビゲーション設定.....	50
前のルートと目的地を表示する	42	地図および車両設定.....	50
Fusion-Link™ ワイヤレスリモートコントロールアプリ	43	地図を有効にする.....	50
Bluetooth を使用してステレオに接続する	43	[ルート探索の環境設定] の設定	50
ワイヤレスネットワークを使用したステレオへの接続	43	運転者支援の設定	51
音楽の再生	43	トラフィック設定	51
音楽を再生する	43	Bluetooth 無線技術を有効にする	51
ソースを選択する	43	ワイヤレスネットワークに接続する	51

設定を初期化する	52	アクセサリーの接続	61
データと設定をリセットする	53	制御入力の接続	62
デバイス情報.....	53	デバイスを車両電源に接続する	62
E ラベルの規制およびコンプライアンス 情報の表示	53	Garmin ナビゲーションデバイスとの ペアリング	63
仕様	53	Garmin PowerSwitch 仕様	63
デバイスを充電する	53	トラブルシューティング	63
デバイスのメンテナンス.....	54	自分の Garmin PowerSwitch が接続 したままになりません	63
Garmin サポートセンター	54	アクセサリに電力が供給されていま せん	63
Wi-Fi ネットワークの使用による地図と ソフトウェアの更新	54	バックアップカメラ	63
Garmin Express による地図とソフトウ エアの更新	54	BC™ 35 バックアップカメラと Garmin ナビゲーションデバイスをペアリング する	64
Garmin Express をインストールす る	56	バックアップカメラを表示する	64
デバイスのお手入れ	56	カメラを切り替える	64
外側ケースのクリーニング	56	カメラの向きの変更	65
タッチスクリーンのクリーニング	56	ワイヤレスディスプレイに接続する	65
盗難防止	56	データ管理	65
車両電源ケーブルのヒューズを交換す る	57	メモリカードについて	65
デバイスをリセットする	57	地図およびデータ用のメモリーカード を挿入する	65
デバイス、マウント、吸着カップを取り 外す	57	メモリーカードのフォーマット	65
吸着カップからマウントを取り外 す	57	デバイスをコンピュータに接続す る	66
フロントガラスから吸着カップを取り 外す	57	コンピュータからデータを転送す る	66
トラブルシューティング.....	57	追加の地図を購入する	66
吸盤がフロントガラスに取り付けられな い	57	アクセサリーを購入する	66
運転中にマウントでデバイスが所定の位 置に保持されない	58		
デバイスで衛星信号を受信できな... ..	58		
デバイスを車両で充電できな... ..	58		
充電しても電池の電力が長持ちしな い	58		
デバイスがスマートフォンに接続されま せん	58		
付録.....	59		
Garmin PowerSwitch	59		
取り付けに関する注意事項	59		
デバイスの取り付け	59		
前面カバーを開く	60		

はじめに

△ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

- 1 デバイスで地図とソフトウェアを更新します (Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新, 54 ページ)。
- 2 Garmin Explore™ アカウントを設定します (Garmin Explore, 32 ページ)。
- 3 デバイスを車両に取り付けて電源に接続します (車両へのデバイスの取り付けと電源の供給, 3 ページ)。
- 4 車両プロファイルを設定します (車両プロファイル, 9 ページ)。
- 5 目的地までナビゲーションします (ナビゲーションを開始する, 11 ページ)。

デバイスの概要





①	ハンズフリー通話用マイク
②	音量調節
③	電源キー
④	Micro USB 電源およびデータポート
⑤	地図およびデータメモリカードスロット
⑥	3.5 mm オーディオジャック
⑦	14 ピンコネクタ付き磁気マウントインターフェイス
⑧	スピーカー

車両へのデバイスの取り付けと電源の供給

⚠️ 警告

この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるので、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

デバイスとマウントの両方に磁石が取り付けられています。特定の状況下では、磁石が一部の体内医療機器や電子機器（ペースメーカー、インシュリンポンプ、ノートパソコンのハードドライブなど）と干渉する可能性があります。デバイスを医療機器や電子機器に近づけないでください。

デバイスをバッテリーで使用する前に、バッテリーを充電する必要があります。

- 1 レバー①を開き、吸盤をフロントガラスに押し付けてレバーをフロントガラスの方向に戻します。
レバーはフロントガラスの上部に向いている必要があります。



- 2 車両電源ケーブル②をマウントのポートに接続します。

- 3 必要に応じて、吸着カップアームのつまみネジ③とボールマウントのナット④を緩め、見やすく操作しやすいようにマウントを調整します。



- 4 吸着カップアームのつまみネジとボールマウントのナットを締めます。
5 デバイスを磁気マウントに載せます。



- 6 車両の電源ケーブルの反対側の端を、車両の電源コンセントに接続します。

ボールマウントアダプターの取り付け

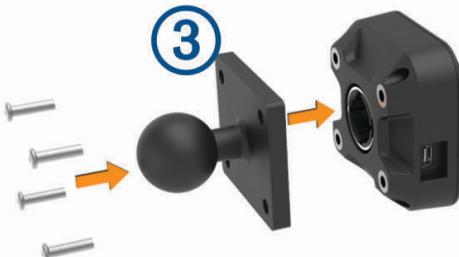
お使いのデバイスには、サードパーティ製マウントソリューションと互換性のある 1 インチボールマウントが付属しています。

- マウントソケット ② を磁気マウントに固定している 4 本のネジ ① を外します。



- マウントソケットを取り外します。

- 手順 1 で取り外したネジを使用して、1 インチボールマウント ③ を磁気マウントに固定します。



デバイスの電源をオンまたはオフにする

- デバイスの電源をオンにするには、電源キー①を押すか、デバイスを電源に接続します。



- デバイスを省電力モードにするには、デバイスの電源がオンになっている状態で電源キーを押します。省電力モードになっている間は画面がオフになり、デバイスはわずかな電力しか消費しませんが、すぐに復帰して使用できます。
ヒント：バッテリーを充電している間にデバイスを省電力モードにすることにより、デバイスの充電時間を短縮できます。
- デバイスの電源を完全にオフにするには、画面にプロンプトが表示されるまで電源キーを押し続け、**電源オフ**を選択します。

GPS信号を捕捉する

ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPS レシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。衛星信号の取得に要する時間は、ナビゲーションデバイスを最後に使用した場所からどのくらい離れているか、空をはっきり見渡せる場所にいるかどうか、あるいは最後にナビゲーションデバイスを使用してからどのくらい経っているかなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の取得に数分かかることがあります。

- デバイスの電源をオンにします。
- ステータスバーの📍表示を確認します。位置情報サービスが有効になっていない場合は有効にします。
- 必要な場合には、高層ビルや樹木から離れて、空を見渡すことができる開けた場所に移動します。
デバイスが現在位置を特定するまで、ナビゲーションマップの上部には衛星の捕捉が表示されます。

メイン画面

注：カスタマイズした場合、ホーム画面のレイアウトが異なる場合があります。



① 下にスワイプすると、通知が表示されます。

② 下に 2 回スワイプすると、設定やバックライトの輝度をすばやく変更できます。

③ 長押しすると、壁紙をカスタマイズしたり、ウィジェットをホーム画面に追加したりできます。

④ 選択すると、道路ナビゲーション機能が表示され、ジャンル別施設を検索できます。

⑤ 選択すると、直行ルートのナビゲーション情報と詳細な地形地図を提供する Garmin Explore アプリが表示されます。

⑥ 選択してアプリドロワーを開きます。アプリドロワーには、お使いのデバイスにインストールされている全アプリのショートカットが表示されます。

アプリの起動

ホーム画面には、よく使うアプリのショートカットが表示されます。アプリドロワーでは、お使いのデバイスにインストールされている全アプリが、3つのタブに分類されて表示されます。Drive タブには、道路のナビゲーションおよびさまざまな自動車のニーズに役立つアプリが表示されます。Explore タブには、直行ルートのナビゲーションおよび探索に役立つアプリが表示されます。ツールタブには、通信やその他の作業に役立つアプリが表示されます。

アプリの起動オプションを選択する：

- ・ ホーム画面からアプリのショートカットを選択します。
- ・ ●、タブ、アプリの順に選択します。

ショートカットをホーム画面に追加する

1 を選択します。

2 アプリタブを選択すると、他のアプリが表示されます。

3 アプリケーションを長押しして、ホーム画面上の位置にドラッグします。

通知の表示

- 1 画面上部から下にスワイプします。
通知のリストが表示されます。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 通知に記載されているアクションまたはアプリを起動するには、通知を選択します。
 - ・ 通知を閉じるには、通知を右にスワイプします。

ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの一番上に配置されています。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。

	位置情報サービスが有効になっています。
	Bluetooth®技術が有効になっています。
	Bluetooth デバイスに接続しています。
	Wi-Fi®ネットワークに接続されています (ワイヤレスネットワークに接続する, 51 ページ)。
	アクティブな車両プロファイル。下に 2 回スワイプして、車両プロファイル設定 (車両プロファイル, 9 ページ) の表示を選択します。
	バッテリー充電レベル

タッチスクリーンを使用する

- ・ 画面をタップしてアイテムを選択します。
- ・ 画面を指でドラッグまたはスワイプしてパンまたはスクロールします。
- ・ 画面上で 2 本の指でつまむとズームアウトします。
- ・ 画面上で 2 本の指を広げるとズームインします。

画面の輝度を調整する

このデバイスは、周辺光センサーを使用して、車両の状況に応じて画面の明るさを自動的に調整できます ([ディスプレイ設定, 51 ページ](#))。またユーザーは、通知パネルまたは設定メニューを使用して、手動で輝度を調整することもできます。

- 1 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 画面の上部から下に 2 回スワイプして、通知パネルのクイック設定を展開します。
 - ・ > 表示 > 輝度レベルを選択します。
- 2 スライダーバーを使用して、輝度を調整します。

車両プロファイル

△ 警告

車両のプロファイル特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

ルート探索およびナビゲーションは、車両プロファイルに基づいて計算されます。有効化された車両プロファイルは、ステータスバーのアイコンで示されます。デバイスのナビゲーション設定と地図設定は、車両タイプごとに個別にカスタマイズできます。

キャンパーの車両プロファイルを有効化するとき、デバイスは、寸法、重量、および車両に関して入力したその他の特性に基づいて、ルート内の制限区域や通行不能な区域を含めないようにします。

乗用車プロファイル

乗用車プロファイルは、トレーラーのない自動車での使用を目的としたロード済みの車両プロファイルです。乗用車プロファイルを使用している間は、デバイスが普通車のルートを計算するため、大型車のルート指定は使用できません。乗用車プロファイルを使用している間は、大型車に固有の機能および設定が一部使用できません。

車両プロファイルを追加する

車両プロファイルは、キャンピングカーやトレーラーなど、大型車両の高さと重量に基づいてルーティングを行うオプション機能です。大型車を所有している場合、またはトレーラーをけん引している場合は、車両プロファイルを設定する必要があります。Overlander デバイスで使用する車両設定ごとに、車両プロファイルを設定できます。

- 1  >  > 車両プロファイル >  を選択します。
- 2 車両設定に最も近い車両オプションを選択します。
- 3 画面上の指示に従って、車両特性を入力します。

車両プロファイルの切り替え

初めてデバイスをオンにしたときには、車両のプロファイルを選択するように要求されます。別の車両プロファイルにいつでも手動で切り替えることができます。

- 1 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 画面上部から下に 2 回スワイプして、 や  などの車両プロファイルアイコンを選択します。
 - ・  > ナビゲーション > 車両プロファイルを選択します。
- 2 車両プロファイルを選択します。
測定値や重量とともに車両プロファイル情報が表示されます。
- 3 選択を選択します。

車両プロファイルを編集する

基本的な車両プロファイル情報を変更したり、最高速度などの詳細情報を車両プロファイルに追加できます。

- 1  > ナビゲーション > 車両プロファイルを選択します。
- 2 編集する車両プロファイルを選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 車両プロファイル情報を編集するには、 を選択し、編集するフィールドを選択します。
 - ・ 車両プロファイルの名前を変更するには、 >  > プロファイル名の変更を選択します。
 - ・ 車両プロファイルを削除するには、 >  > 削除を選択します。

ドライバーへの注意喚起の機能とアラート

△ 注意

ドライバーアラートと制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garmin®は、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受ける罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

このデバイスは、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも、より安全な運転や効率の向上に役立つ機能を備えています。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。一部の運転者アラートについて通知音をオン / オフできます。アラートによっては、利用できない地域もあります。

学校: デバイスが通知音を再生し、この先の学校やスクールゾーンに関する制限速度（ある場合）を表示します。

制限速度超過: 現在の道路に掲示されている制限速度を超えると、デバイスは通知音を再生し、速度制限アイコンに赤枠を表示します。

制限速度変更: デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度を表示するため、速度を調節する準備ができます。

踏切: デバイスが通知音を再生し、この先の踏切を示します。

動物出没: デバイスが通知音を再生し、この先の動物出没エリアを示します。

カーブ: デバイスが通知音を再生し、道路のカーブを示します。

渋滞: 渋滞に速い速度で近づくと、デバイスが通知音を再生し、渋滞が発生していることを示します。この機能を使用するには、デバイスでトラフィック情報を受信している必要があります（[\[トラフィック\]](#), 40ページ）。

接地の危険あり: 車両が接地する可能性のある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

つづら折れ: つづら折れのリスクがある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

道幅減少: 車両が通過するには狭すぎる道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

急な下り坂: 急な下り坂に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

州および国の境界: 州または国の境界に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

プロパンをオフにする: プロパンをオフにしなければならないエリアに接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

オーディブルドライバーアラートを有効または無効にする

一部の運転者アラートについて通知音をオン / オフできます。音声を無効にしても、視覚アラートは表示されます。

1 > ナビゲーション > 安全運転支援 > オーディブルドライバーアラートの順に選択します。

2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

赤信号カメラとスピードカメラ

注記

Garmin は、赤外線カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

注: この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

製品モデルによっては、一部地域で赤信号カメラおよびスピードカメラの位置に関する情報が利用できます。報告されたスピードカメラや赤信号カメラに近づくと、アラートされます。

- Garmin Express™ソフトウェア（garmin.com/express）を使用してデバイスに保存されたカメラデータベースを更新できます。最新のカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

道路のナビゲーション

ルート

ルートとは、現在地から1つ以上の目的地までの経路のことです。

- デバイスは、ルート計算モード(ルート探索方法を変更する, 15ページ)や回避(遅延、有料道路、およびエリアを回避する, 15ページ)などで設定した環境設定に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。
- デバイスは、アクティブな車両プロファイルに適していない道路を自動的に回避します。
- ユーザーは、推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始することも、代替ルートを選択することもできます(ナビゲーションを開始する, 11ページ)。
- 使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます。
- ルートに複数の目的地を追加できます。

ナビゲーションを開始する

1 を選択し、場所を検索します。

2 位置を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- 推奨ルートを使用してナビゲーションを開始するには、出発を選択します。
- 代替ルートを指定するには、を選択し、ルートを選択します。
地図の右側に代替ルートが表示されます。
- ルートの経路を編集するには、 > ルートの編集を選択し、ルートにシェイピングポイントを追加します。

デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します(地図上のルート, 12ページ)。ルートにある主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

追加の目的地で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます。

地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。

1 Driveを選択します。

2 地図をドラッグおよび拡大/縮小して、検索する範囲を表示します。

3 必要な場合は、を選択して、表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングします。

地図上に位置マーカー(または青いドット)が表示されます。

4 次の中からオプションを選択します。

- 位置マーカーを選択します。
- ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。

5 出発を選択します。

帰宅する

初めて自宅へのルートを開始すると、自宅の場所の入力を求めるメッセージがデバイスに表示されます。

1  > 自宅への順に選択します。

2 必要に応じて、自宅の場所を入力します。

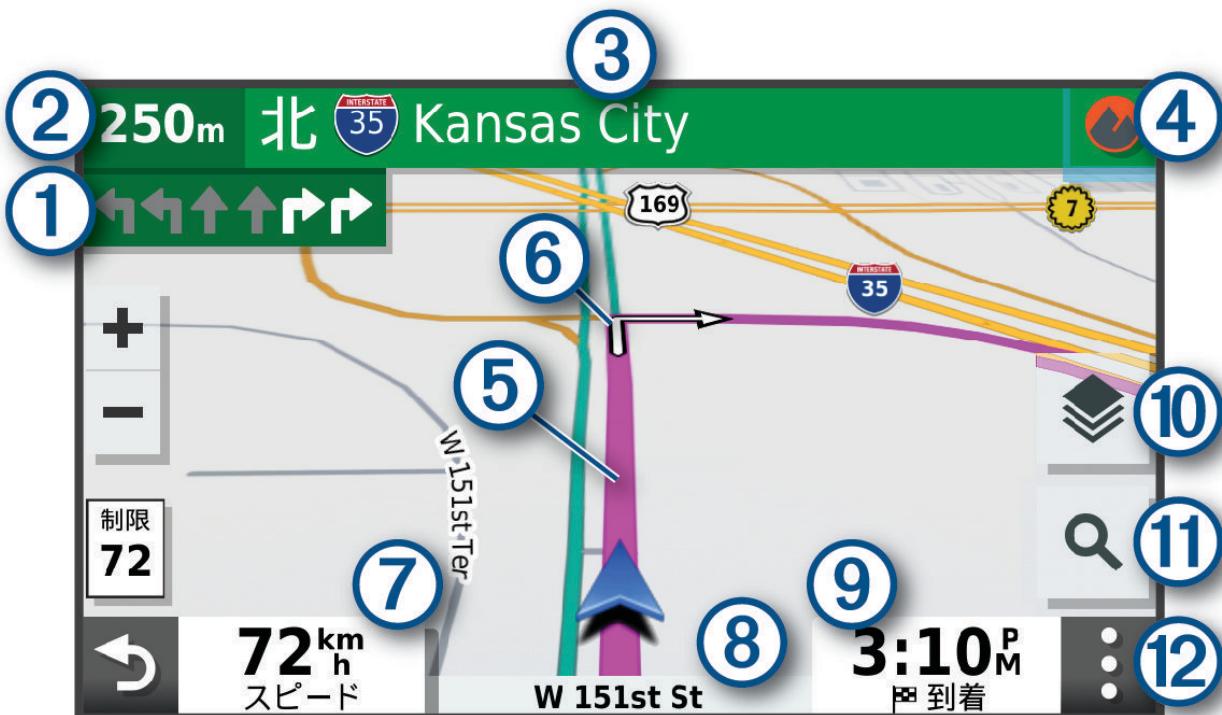
自宅の場所を編集する

1  >  > 自宅登録の順に選択します。

2 自宅の場所を入力します。

地図上のルート

走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。方向転換地点、出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。



- ① ルートでの次のアクション。次の方向転換、出口、その他のアクションおよび（利用可能な場合）走行すべきレーンを示します。
- ② 次のアクションまでの距離。
- ③ 次のアクションに関する通りや出口の名前。
- ④ 直行ルートのナビゲーションの場合 Garmin Explore アプリを開きます。
- ⑤ 地図上に強調表示されたルート。
- ⑥ ルートでの次のアクション。地図上の矢印はこの先のアクションの場所を示します。
- ⑦ 車速。
- ⑧ 走行中の道路の名前。
- ⑨ 到着予想時刻。
ヒント：このフィールドにタッチすると、表示される情報を変更できます。
- ⑩ 地図レイヤー。地形や BirdsEye イメージなどの地図レイヤーを地図ビューに追加できます。
- ⑪ 選択すると、新しいルートを開始するか、ジャンル別施設を検索します。

⑫

地図ツール。ルートとその周辺の詳細情報を表示するためのツールを提供します。

アクティブ車線案内

ルートで転換地点、出口、またはインターチェンジに近づくと、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線①が方向転換する車線を示します。



方向転換と方向指示を表示する

ルートのナビゲーション中に、ルートのこの先の方向転換、レーン変更、その他の方向指示を表示できます。

1 地図から、オプションを選択します。

- ナビゲーションするにつれてこの先の方向転換や方向指示を表示するには、⋮ > 方向転換を選択します。地図ツールで、地図の横に次の4つの方向転換や方向指示が表示されます。ルートをナビゲーションするにつれて、このリストは自動的に更新されます。
- ルート全体の方向転換と方向指示の完全なリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。

2 方向転換または方向指示を選択します(オプション)。

詳細情報が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点が画像で表示されます。

地図にルート全体を表示する

1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。

2 []を選択します。

目的地に到着する

目的地に近づくと、デバイスはルートの達成に役立つ情報を提供します。

- []は地図上の目的地の場所を示し、目的地に近づいていることを音声プロンプトがアナウンスします。
- 目的地に近づくと、デバイスは駐車場の検索をするかどうか自動的に尋ねます。はいを選択して、近くの駐車場を検索できます(目的地の近くの駐車場、14ページ)。
- 目的地で停車した場合、デバイスはルートを自動的に終了します。デバイスが到着を自動的に検出しなかった場合は、停止を選択してルートを終了できます。

目的地の近くの駐車場

デバイスは、目的地の近くの駐車場所を探すのに役立ちます。目的地に近づくと、デバイスは駐車場の検索をするかどうか自動的に尋ねます。

1 次の中からオプションを選択します。

- ・ デバイスに確認のメッセージが表示されたら、**はい**を選択して近くの駐車場を検索します。
- ・ デバイスに確認のメッセージが表示されなかった場合は、**Q > カテゴリー > 駐車場**の順に選択し、**目的地周辺**を選択します。

2 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の1つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します（オプション）。

注：詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。

3 駐車場を選択し、**出発 > 次の経由地**を追加の順に選択します。

デバイスは、駐車場にガイドします。

アクティブルートを変更する

ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ナビゲーションを実行している必要があります（ナビゲーションを開始する、11ページ）。

ルートの途中または最後に場所を追加できます。たとえば、ルートの次の目的地としてガソリンスタンドを追加できます。

1 地図から、**➡ > Q**を選択します。

2 位置を検索します。

3 位置を選択します。

4 出発を選択します。

5 次の中からオプションを選択します。

- ・ ルートの次の目的地として場所を追加するには、**次の経由地を追加**を選択します。
- ・ ルートの最後に場所を追加するには、**最後の経由地追加**を選択します。
- ・ 場所を追加して、ルートでの目的地の順序を編集するには、**アクティブルートに追加**を選択します。

デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に目的地までのルートを案内します。

ルートを形成する

ルートを形成する前に、ルートを開始する必要があります（ナビゲーションを開始する、11ページ）。

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに目的地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルートの方向を選択することや特定の地域を通過することができます。

1 地図上の任意の場所を選択します。

2 **+**を選択します。

デバイスがルートシェイピングモードになります。

3 地図上で位置を選択します。

ヒント：**+**を選択して、地図上でズームインし、より正確な場所を選択することもできます。

デバイスは、選択された場所を通過するようにルートを再計算します。

4 必要に応じて、オプションを選択します。

- ・ ルートにさらにシェイピングポイントを追加するには、地図上で追加の場所を選択します。
- ・ シェイピングポイントを削除するには、**刪除**を選択します。

5 ルートの形成が完了したら、**出発**を選択します。

迂回路を検索する

ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

- 1 地図で、⋮> ルートの編集を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 距離を指定して迂回するには、**距離で迂回**を選択します。
 - ・ ルート上の特定の道路を迂回するには、**道路別迂回路**を選択します。

ルート探索方法を変更する

- 1 計算モードを選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ **時間優先**を選択すると、一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。
 - ・ **直行**を選択すると、道路状況にかかわらず、ポイント間のルートを計算します。
 - ・ **距離優先**を選択すると、走行距離が短くなるようにルートを計算しますが、走行時間は長くなることがあります。

ナビゲーションを停止する

- ・ 地図で⋮>  を選択します。
- ・ 通知バーから下にスワイプして Garmin ナビゲーション通知で  を選択します。

推奨ルートを利用する

この機能を使用する前に、1つ以上の位置を保存して、走行履歴機能を有効にする必要があります ([デバイス設定, 52 ページ](#))。

myTrends™ 機能を使用すると、走行履歴、特定の曜日や時刻に基づいてデバイスが目的地を予測します。保存した位置まで数回走行すると、地図上のナビゲーションバーに予定移動時間およびトラフィック情報と共にその位置が表示されます。

位置までのルート候補を表示するには、ナビゲーションバーを選択します。

遅延、有料道路、およびエリアを回避する

ルート上の交通遅延を回避する

交通の遅延を回避する前に、トラフィック情報を受信している必要があります ([トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する, 41 ページ](#))。

デフォルトでは、デバイスは自動的にルートを最適化して交通遅延を回避します。[[トラフィック設定](#)] でこのオプションを無効にしている場合 ([トラフィック設定, 51 ページ](#))、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、⋮> **トラフィック**を選択します。
- 2 代替ルートを選択します（利用可能な場合）。
- 3 出発を選択します。

有料道路を回避する

デバイスは、有料道路、有料橋などの有料区域、または渋滞区域の通過を回避できます。他に妥当なルートがない場合は、ルートに有料区域が含まれる場合があります。

1  > ナビゲーション > ルートの環境設定を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

注：メニューは、地域とデバイス上の地図データにより変化します。

- ・ **有料道路**を選択します。
- ・ **通行料金 > 有料道路**を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- ・ 有料区域を通過する前に毎回確認するには、**常に確認する**を選択します。
- ・ 有料道路を常に回避するには、**回避**を選択します。
- ・ 有料道路を常に許可するには、**許可**を選択します。

4 保存を選択します。

有料ステッカーを回避する

デバイスの地図データに詳細な有料ステッカー情報が含まれている場合は、各国で有料ステッカーが必要とされる道路を避けたり、進入を許可したりできます。

注：この機能を利用できない地域もあります。

1  > ナビゲーション > ルートの環境設定 > 通行料金 > 料金ステッカーを選択します。

2 国を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- ・ 有料ステッカーが必要とされる区域を通過する前に毎回確認するには、**常に確認する**を選択します。
- ・ 有料ステッカーが必要とされる道路を常に回避するには、**回避**を選択します。
- ・ 有料ステッカーが必要とされる道路を常に許可するには、**許可**を選択します。

4 保存を選択します。

道路の回避機能

1  > ナビゲーション > ルートの環境設定 > 回避を選択します。

2 ルート上で回避したい道路の種類を選択し、OKを選択します。

環境ゾーンを回避する

デバイスは、お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域を回避できます。このオプションは、アクティブな車両プロファイルにある車両タイプに適用されます（[車両プロファイル](#)、9ページ）。

1  > ナビゲーション > ルートの環境設定 > 環境ゾーンを選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・ 環境ゾーンを通過する前に毎回確認するには、**常に確認する**を選択します。
- ・ 環境ゾーンを常に回避するには、**回避**を選択します。
- ・ 環境ゾーンを常に許可するには、**許可**を選択します。

3 保存を選択します。

カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区域を選択して回避できます。デバイスは、ルートを計算するときは、他に妥当なルートがない場合を除き、これらのエリアと道路を回避します。

道路を回避する

- 1 > ナビゲーション > ルートの環境設定 > カスタム回避を選択します。
- 2 必要に応じて、回避の追加を選択します。
- 3 回避道路の追加を選択します。
- 4 回避する道路区域の始点を選択し、次へを選択します。
- 5 道路区域の終点を選択し、次へを選択します。
- 6 OKを選択します。

エリアを回避する

- 1 > ナビゲーション > ルートの環境設定 > カスタム回避を選択します。
- 2 必要に応じて、回避の追加を選択します。
- 3 回避エリアの追加を選択します。
- 4 回避するエリアの左上隅を選択し、次へを選択します。
- 5 回避するエリアの右下隅を選択し、次へを選択します。
- 選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。
- 6 OKを選択します。

カスタム回避を無効にする

カスタム回避を削除せずに無効にします。

- 1 > ナビゲーション > ルートの環境設定 > カスタム回避を選択します。
- 2 回避を選択します。
- 3 > 無効の順に選択します。

カスタム回避を削除する

- 1 > ナビゲーション > ルートの環境設定 > カスタム回避 > を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - すべてのカスタム回避を削除するにはすべて選択 > 削除の順に選択します。
 - カスタム回避を1件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、削除を選択します。

位置の検索と保存を行う

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。Qメニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

- すべての場所情報をすばやく検索するには、検索語を入力します(検索バーを使用して位置を検索する, 21ページ)。
- カテゴリーごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索します(ジャンル別施設, 17ページ)。
- Foursquare®のジャンル別施設を検索し、チェックインします(Foursquare のジャンル別施設を検索する, 19ページ)。
- 検索ツールを使用して、住所、交差点、または地理座標など特定の場所を検索します(検索ツール, 25ページ)。
- 別の都市または地域の周辺を検索します(検索エリアを変更する, 24ページ)。
- お気に入りの場所を保存して後からすばやく検索できます(位置を保存する, 26ページ)。
- 最近検索した場所に戻ります(最近検索した位置を表示する, 25ページ)。

ジャンル別施設

ジャンル別施設は、有用と思われるまたは興味深い場所です。ジャンル別施設は、カテゴリー別に分類されガソリンスタンド、レストラン、ホテル、娯楽施設などよく知られた移動先を含めることができます。

Garmin Explore の場所へのナビゲーション

Garmin Explore の場所に移動するには、Garmin Explore アカウントに前もって 1 つまたは複数の場所を追加する必要があります。

- 1  > Explore を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 オプションを選択します。
 - ・ 詳細な道路案内を使用して場所までナビゲーションする場合は、出発を選択します。
 - ・ Garmin Explore アプリを使用して場所を表示する場合は、を選択します。

カテゴリーを入力して位置を検索する

- 1 を選択します。
- 2 カテゴリーを選択するか、または カテゴリーを選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 4 位置を選択します。

カテゴリー内を検索する

ジャンル別施設の検索後、ある特定のカテゴリーに、最後に選択した目的地からさかのぼって 4 か所を含むクリックサーチリストが表示される場合があります。

- 1  > カテゴリーの順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 画面右側のクリックサーチリストから、目的地を選択します。
クリックサーチリストには、選択したカテゴリーで最近検索した場所のリストが表示されます。
 - ・ 必要に応じてサブカテゴリーを選択し、目的地を選択します。

キャンプ場の検索

 > 全てのキャンプ場を選択します。

RV 駐車場を検索する

注： この機能を利用できない地域もあります。

利用可能な施設に応じて RV 駐車場を検索できます。

- 1  > PlanRV Parks の順に選択します。
- 2 必要な場合は、施設別にフィルタリングを選択し、1 つ以上の施設を選択して、保存を選択します。
- 3 位置を選択します。

Ultimate Campgrounds ジャンル別施設 (POI) を検索する

注： この機能を利用できない地域もあります。

お使いのデバイスには、近くのキャンプ場を検索できる、Ultimate Campgrounds ジャンル別施設が含まれています。

- 1  > Ultimate Public Campgrounds を選択します。
- 2 必要に応じて、検索フィルタを選択し、1 つ以上の検索フィルタを選択して、検索を選択します。
- 3 位置を選択します。

RV サービスを検索する

注： この機能を利用できない地域もあります。

RV の修理やレッカー移動などのサービスを提供している最寄の場所を検索できます。

 > PlanRV Services の順に選択します。

国立公園を検索する

北米または米国の地図が付属するデバイスモデルには、米国の国立公園の詳細情報も含まれています。国立公園または国立公園内の場所へのナビゲーションすることができます。

- 1  > 国立公園の順に選択します。

国立公園が、現在地から近い順に一覧で表示されます。

- 2 検索を選択して、公園名のすべてまたは一部を入力して、結果を絞り込みます（オプション）。

- 3 国立公園を選択します。

公園内の機能や施設のカテゴリリストが公園名の下に表示されます。

- 4 次の中からオプションを選択します。

- ・公園までのナビゲーションを開始するには、出発を選択します。

- ・公園の詳細情報、機能、施設を確認するには、 を選択します。

- ・公園内の場所をすばやく検索するには、公園名の下のリストからカテゴリを選択して、場所を選択します。

国立公園の機能と施設を探索する

北米の製品モデルでは、国立公園内で利用できる主要な場所や設備に関する詳細情報を調べたり、公園内の特定の場所に移動できます。例えば、キャンプ場、ランドマーク、ビジターセンター、人気のアトラクションなどを検索できます。

- 1 場所の検索結果から、国立公園を選択して、 を選択します。

- 2 この公園を詳しく見るを選択します。

公園の機能と施設のカテゴリが一覧で表示されます。

- 3 カテゴリーを選択します。

- 4 場所を選択し、出発を選択します。

iOverlander™ ジャンル別施設 (POI) を検索する

注記

お客様には、キャンプ場や施設に関する適用規則を理解して順守する責任があります。

デバイスには、キャンプ場、修理サービス、宿泊施設など、オーバーランドに役立つ施設を検索できる iOverlander ジャンル別施設が含まれています。

- 1  > iOverlander を選択します。

- 2 カテゴリーを選択します。

- 3 位置を選択します。

HISTORY ジャンル別施設 (POI) を検索する

注：この機能は、すべての製品モデルおよびすべての地域で利用できるわけではありません。

このデバイスには HISTORY ジャンル別施設が登録されています。これにより、歴史的建造物、文化財、博物館、歴史的に重要な事件が起こった場所などを検索して、詳細を見ることができます。

- 1  > History®の順に選択します。

- 2 カテゴリーを選択します。

- 3 位置を選択します。

- 4  を選択すると、その場所の写真と歴史の概要が表示されます。

Foursquare

Foursquare は、場所に基づくソーシャルネットワークです。お使いのデバイスにはロード済みの Foursquare のジャンル別施設があり、場所検索の結果に Foursquare ロゴで示されます。

Foursquare のジャンル別施設を検索する

デバイスにロードした Foursquare のジャンル別施設を検索できます。

 > Foursquare を選択します。

TripAdvisor[®]

デバイスには TripAdvisor ジャンル別施設および評価が登録されています。 TripAdvisor 評価は、自動的に該当するジャンル別施設リストの検索結果に表示されます。近くの TripAdvisor ジャンル別施設を検索して、距離または人気度に基づき並べ替えることもできます。

TripAdvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する

- 1  > TripAdvisor の順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
そのカテゴリーに該当する、近くの TripAdvisor ジャンル別施設のリストが表示されます。
- 3 距離または人気度で検索結果を並べ替えるには、結果を並べ替えるを選択します（オプション）。

場所内のジャンル別施設にナビゲーションする

注：この機能は、すべての地域またはすべての製品モデルで利用できるわけではありません。

ショッピングモール内のストアまたは空港の特定のターミナルなど、大規模な場所の中にあるジャンル別施設(POI)へのルートを作成できます。

- 1  > 検索を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 場所を検索するには、場所の名前または住所を入力し、を選択して、手順 3 に進みます。
 - ・ POI を検索するには、POI の名前を入力し、を選択して、手順 5 に進みます。
- 3 場所を選択します。
場所の下にレストラン、レンタカー、またはターミナルなど、カテゴリーのリストが表示されます。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 POI を選択し、出発を選択します。

デバイスは、POI の周辺の駐車場または場所までのルートを作成します。目的地に到着すると、推奨の駐車場がチェックカーフラッグで示されます。ラベルの付いたポイントは、場所内にある POI の位置を示します。

場所の探索

注：この機能は、すべての地域またはすべての製品モデルで利用できるわけではありません。

各場所内にあるすべてのジャンル別施設のリストを表示できます。

- 1 場所を選択します。
- 2  > この場所を詳細に調査するを選択します。

検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリー、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

- 1 を選択します。
- 2 検索バーで **検索**を選択します。
- 3 検索語の全体または一部を入力します。
検索語の候補が検索バーの下に表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリー名を入力します。
 - ・ 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
 - ・ 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
 - ・ 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
 - ・ 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
 - ・ 座標を検索するには、緯度 / 経度を入力します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。
 - ・ 入力したテキストを使用して検索するには、を選択します。
- 6 必要に応じて、位置を選択します。

住所を検索する

注：デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 1 を選択します。
- 2 必要に応じて、を選択して、別の都市または地域の周辺を検索します。
- 3 住所を選択します。
- 4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 5 番地等を選択します。

場所検索の結果

デフォルトでは、場所検索の結果はリストに表示され、最も近い場所が一番上に表示されます。下にスクロールしてより多くの結果を表示できます。



①	場所を選択してオプションメニューを表示します。
②	① 検索結果リストの上部をスクロールするボタン。
③	選択して、選択した場所に関する詳細情報を表示します。
④	選択して、Garmin Explore アプリで選択した場所を表示します。
⑤	選択して、場所への代替ルートを表示します。
⑥	選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。
出発	選択して、検索結果を地図上に表示します。

地図上の場所検索結果

場所検索の結果をリストではなく地図に表示できます。

場所検索の結果から、を選択します。最も近い場所が地図の中心に表示され、選択した場所の基本情報が地図の下部に表示されます。



- | | |
|---|--------------------------------------|
| ① | 地図をドラッグして、追加の検索結果を表示します。 |
| ② | 追加の検索結果。選択して、別の場所を表示します。 |
| ③ | 選択した場所の概要。選択して、選択した場所に関する詳細情報を表示します。 |
| ④ 出発 | 選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。 |
| ⑤  | 選択して、検索結果をリストに表示します。 |

検索エリアを変更する

デフォルトでは、デバイスは現在地に近い場所を検索します。目的地の近く、別の都市の近く、アクティブルート沿いなど別のエリアの検索もできます。

- 1 を選択します。
- 2 現在の検索エリア①の横にあるを選択します。



- 3 検索エリアを選択します。

- 4 必要に応じて、画面の指示に従って、特定の場所を選択します。

選択した検索エリアがの横に表示されます。メニューのオプションを使用して場所を検索すると、そのエリアの近くにある場所が提案されます。

カスタム POI (ジャンル別施設)

カスタム POI は、地図上のカスタマイズされたポイントのことです。カスタム POI には、指定した地点に近づいた場合や走行スピードが指定スピードを超えた場合などに通知するアラートを設定することができます。

POI Loader をインストールする

コンピュータでカスタム POI リストを作成またはダウンロードし、POI Loader ソフトウェアを使用して、デバイスにインストールできます。

- 1 www.garmin.com/poiloader を参照してください。
- 2 画面に表示される指示に従います。

カスタム POI を検索する

カスタム POI を検索できるようにするには、POI Loader ソフトウェアを使用して、デバイスにカスタム POI をロードする必要があります ([POI Loader をインストールする, 24 ページ](#))。

- 1  > カテゴリーの順に選択します。
- 2 [その他のカテゴリー] セクションにスクロールし、目的のカテゴリーを選択します。

駐車場

Overlander デバイスは詳細な駐車場データを含んでいます。これは、駐車場の利用可能性、駐車場のタイプ、料金、または認められている支払い方法に基づいて近くの駐車場を検索するのに役立ちます。

現在の場所近くの駐車場を検索する

- 1 **Q** > カテゴリー > 駐車場の順に選択します。
- 2 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の 1 つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します（オプション）。
注： 詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。
- 3 駐車場を選択します。
- 4 出発を選択します。

駐車場の色分けと記号について

詳細なパーキングデータがある駐車場所では、駐車スポットが見つかる可能性が色で表示されます。記号は駐車場のタイプ（路上またはパーキングロット）関連する料金情報、および支払タイプを示します。

これらの色と記号の凡例はデバイスで表示できます。

パーキング検索の結果から、① を選択します。

検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

交差点を検索する

2 本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。

- 1 **Q** > カテゴリー > 交差点の順に選択します。
- 2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。
- 3 交差点を選択します。

座標を使用して位置を検索する

緯度 / 経度を指定して、位置を検索できます。

- 1 **Q** > 座標の順に選択します。
- 2 必要に応じて  を選択し、座標形式やデータを変更します。
- 3 緯度 / 経度を入力します。
- 4 地図に表示を選択します。

最近検索した位置を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の履歴が最新の 50 件保存されています。

Q > 最近表示した項目の順に選択します。

最近検索した場所のリストを消去する

Q > 最近表示した項目 >  > 消去 > はいの順に選択します。

現在地情報を表示する

[現在地の確認] ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。

緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[現在地の確認] ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

- 1 地図で、車両を選択します。

- 2 病院、警察署、ガソリンスタンド、または路上支援を選択します。

注：サービスカテゴリーの中には、すべてのエリアでは提供されていないものもあります。

選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。

- 3 位置を選択します。

- 4 次の中からオプションを選択します。

- ・ その場所までのナビゲーションが開始するには、出発を選択します。

- ・ 電話番号や場所に関する他の詳細を表示するには、**i**を選択します。

現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

- 1 地図で、車両を選択します。

- 2 > 現在地までの道順の順に選択します。

- 3 始点を選択します。

- 4 選択を選択します。

ショートカットを追加する

[目的地検索] メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、位置、カテゴリー、または検索ツールを直接参照できます。

[目的地検索] メニューには 36 個までのショートカットアイコンを追加できます。

- 1 > ショートカットの追加の順に選択します。

- 2 アイテムを選択します。

ショートカットを削除する

- 1 > > ショートカットの削除の順に選択します。

- 2 削除するショートカットを選択します。

- 3 確認のため再度ショートカットを選択します。

- 4 OKを選択します。

位置を保存する

位置を保存する

- 1 位置を検索します (カテゴリーを入力して位置を検索する、18 ページ)。

- 2 検索結果から位置を選択します。

- 3 **i** > 保存を選択します。

- 4 名前を入力し、OKを選択します。

現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。

- 2 保存を選択します。

- 3 名前を入力し、OKを選択します。

- 4 OKを選択します。

保存した位置を編集する

- 1 > 保存済みの順に選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 を選択します。
- 5 > 編集を選択します。
- 6 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 名前を選択します。
 - ・ 電話番号を選択します。
 - ・ カテゴリーを保存した位置に割り当てるには、カテゴリーを選択します。
 - ・ 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、地図記号の変更を選択します。
- 7 情報を編集します。
- 8 OKを選択します。

保存した位置にカテゴリーを割り当てる

カスタムカテゴリーを使用して保存した位置を整理できます。

注：位置を12件以上保存すると、カテゴリーが[保存した位置]メニューに表示されます。

- 1 > 保存済みの順に選択します。
- 2 位置を選択します。
- 3 を選択します。
- 4 > 編集 > カテゴリーの順に選択します。
- 5 1つ以上のカテゴリー名を、カンマ区切りで入力します。
- 6 必要に応じて、カテゴリーの候補を選択します。
- 7 OKを選択します。

保存した位置を削除する

注：削除された位置情報を復元することはできません。

- 1 > 保存済みの順に選択します。
- 2 > 保存した場所を削除の順に選択します。
- 3 削除する保存済み位置情報にチェックをして、削除を選択します。

ストリートマップを使用する

ストリートマップを使用してルートのナビゲーションを行うこと(地図上のルート, 12ページ)やアクティブなルートがないときに周囲の地図を表示することができます。

- 1 Driveを選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 地図をドラッグして、上下左右に回転します。
 - ・ 拡大または縮小するには、+または-を選択します。
 - ・ ノースアップ表示と3D表示を切り替えるには、▲を選択します。
 - ・ 表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングするには、を選択します。
 - ・ ルートを開始するには、地図上で位置を選択し、出発(地図を使用してナビゲーションを開始する, 11ページ)を選択します。

地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

停止: アクティブルートのナビゲーションを停止します。

ルートの編集:迂回したり、ルートの場所をスキップしたりできます ([アクティブルートを変更する](#), 14 ページ)。

ミュート: マスター音量をミュートします。

次の都市まで: アクティブルートや高速道路沿いの、次の都市およびサービスを表示します。

この先: ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所を表示します ([この先](#), 28 ページ)。

高度: この先の高度変化を表示します。

トラフィック: ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します ([進行方向の交通事故を表示する](#), 31 ページ)。この機能は、一部の地域やデバイスモデルでは利用できません。

出張データ: 速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します ([地図からトリップデータを表示する](#), 30 ページ)。

方向転換: ルートのこの先の方向転換のリストを表示します ([方向転換と方向指示を表示する](#), 13 ページ)。

電話: 接続されている電話の最新の通話を表示し、通話中に通話中オプションを表示します ([通話中オプションを使用する](#), 39 ページ)。

地図ツールを表示する

1 地図で を選択します。

2 地図ツールを選択します。

地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。

3 地図ツールを使い終わったら、 を選択します。

この先

この先ツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先のジャンル別施設を表示できます。高速道路の走行中は、高速道路標識についての情報と同様に、この先の出口や都市についての情報と利用できるサービスも表示できます。

3 つのカテゴリーをこの先ツールに表示するようにカスタマイズできます。

この先の場所を表示する

1 地図から > この先を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

・ 各カテゴリーの、次のこの先の場所を表示するには、必要に応じて を選択します。

・ この先の高速道路出口や都市についての情報と利用できるサービスを表示するには、 を選択します。

注: このオプションは、高速道路走行中、またはルートに高速道路が含まれる場合にのみ利用可能です。

3 そのカテゴリー、出口、または都市について、場所のリストを表示する項目を選択します。

[この先] カテゴリーをカスタマイズする

この先ツールで表示する場所カテゴリーを変更できます。

1 地図で、 > この先を選択します。

2 カテゴリーを選択します。

3 を選択します。

4 次の中からオプションを選択します。

・ リスト内のカテゴリーを上下に移動するには、カテゴリー名の横にある矢印を選択してドラッグします。

・ カテゴリーを変更するには、カテゴリーを選択します。

・ カスタムカテゴリーを作成するには、カテゴリーを選択して、カスタム検索を選択し、ビジネスまたはカテゴリーの名前を入力します。

5 保存を選択します。

警告およびアラート記号

⚠ 警告

車両のプロファイル特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

潜在的な危険や道路状況をお知らせするために、地図上またはルート案内に警告およびアラート記号が表示される場合があります。

制約に関する警告

	車高
	重量
	軸荷重
	長さ
	幅
	トラック走行禁止
	トレーラー走行禁止
	有害物質禁止
	可燃物禁止
	水質汚染物質禁止
	左折禁止
	右折禁止
	U ターン禁止

道路状況に関する警告

	接地の危険あり
	つづら折れ
	道幅減少
	急カーブ
	急な下り坂
	樹木の張り出し

アラート

	重量検査所
	トラックについては検証されていない道路

トリップ情報

地図からトリップデータを表示する

地図上にトリップデータを表示するには、[地図ツール] メニューにこのツールを追加する必要があります。

地図で : > 出張データを選択します。

トリップデータフィールドをカスタマイズする

トリップデータ地図ツールに表示されるデータをカスタマイズできるようにするには、まず、[地図ツール] メニューにトリップデータツールを追加する必要があります。

1 地図で : > 出張データを選択します。

2 トリップデータフィールドを選択します。

3 オプションを選択します。

トリップデータ地図ツールに、新しいトリップデータフィールドが表示されます。

トリップ情報ページを表示する

トリップ情報ページには、速度が表示され、トリップに関する統計情報が表示されます。

注：経由地が多い場合はデバイスの電源をオンにしておいてください。走行中の経過時間を正確に計測できます。

地図で、スピードを選択します。

軌跡ログを表示する

デバイスでは、軌跡ログ（走行した経路の記録）を保持しています。

1  > ナビゲーション > 地図 / 車両 > 地図レイヤーを選択します。

2 軌跡ログチェックボックスをオンにします。

トリップ情報をリセットする

- 1 地図で、スピードを選択します。
- 2 > フィールドのリセットの順に選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、すべて選択を選択します。
 - ・ トリップコンピュータの情報をリセットするには、トリップデータのリセットを選択します。
 - ・ 最高速度をリセットするには、最高速度のリセットを選択します。
 - ・ オドメーターをリセットするには、トリップ B のリセットを選択します。

進行方向の交通事故を表示する

この機能を使用するには、デバイスでトラフィックデータ ([**トラフィック**], 40 ページ)を受信している必要があります。

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、⋮ > トラフィックを選択します。
地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。
- 2 この交通事故を選択して、追加情報を表示します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、 > > トラフィックを選択します。
- 2 必要に応じて、 > 凡例を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、 > > トラフィックを選択します。
- 2 > 事故の順に選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

地図をカスタマイズする

地図レイヤーをカスタマイズする

ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

- 1 > ナビゲーション > 地図 / 車両 > 地図レイヤーの順に選択します。
- 2 地図上に表示する各レイヤーの横にあるチェックボックスをオンにします。

地図データフィールドを変更する

- 1 地図からデータフィールドを選択します。
注：スピードはカスタマイズできません。
- 2 表示するデータの種類を選択します。

地図表示方法を変更する

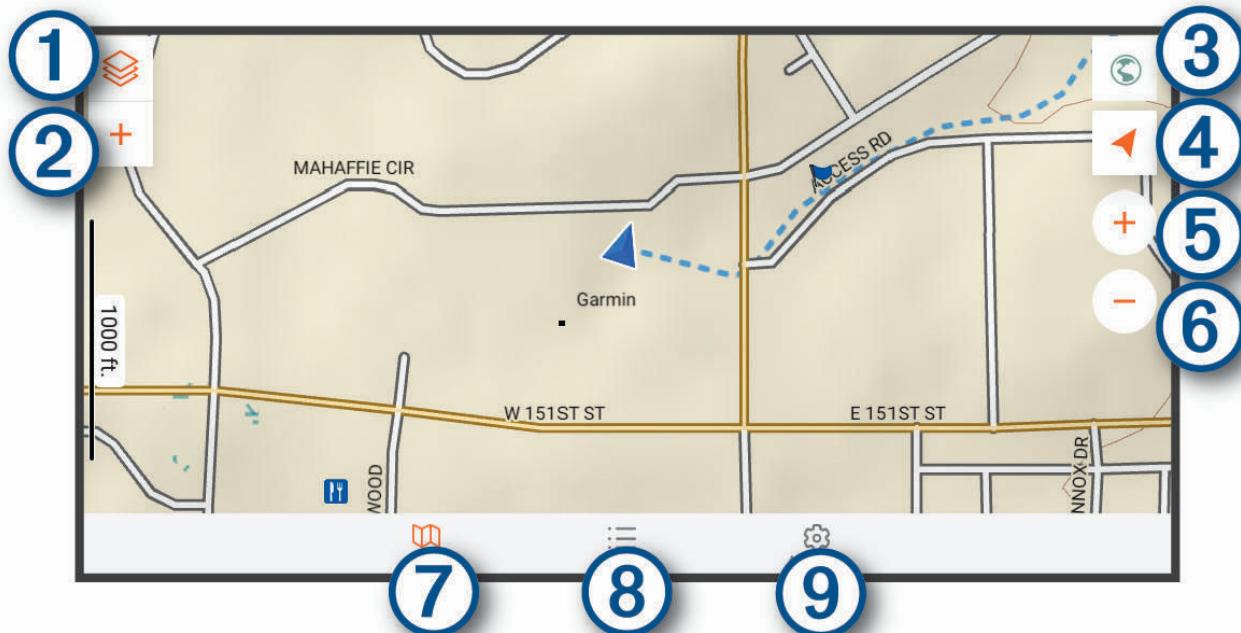
- 1 > ナビゲーション > 地図 / 車両 > 運転地図表示の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ラックアップを選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。
 - ・ ノースアップを選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。
 - ・ 3D を選択すると地図が 3D 表示されます。

直行ルートのナビゲーション

Garmin Explore

Garmin ExploreWeb サイトとモバイルアプリを使用すると、トリップを計画し、ウェイポイント、ルート、トラックにクラウドストレージを使用できます。Garmin Explore は、オンラインとオフラインの両方で高度なプランニングを提供し、デバイスとデータを共有および同期することができます。付属のアプリを使用してオフラインアクセス用の地図をダウンロードし、モバイルデータサービスを使用せずにどこにでもナビゲーションできます。

Garmin Explore アプリはデバイスに含まれています。Garmin Explore また、スマートフォンのアピリストアからアプリをダウンロードしたり、explore.garmin.com にアクセスしたりすることもできます。



- ① 選択すると、[地図設定] メニューが開きます。
- ② 選択すると、ウェイポイントを追加してルートを作成できます。
- ③ 選択すると、街路ナビゲーション用の Garmin Drive™ アプリが開きます。
- ④ 選択すると、地図の方向を変更できます。
- ⑤ 選択すると、地図をズームインできます。
- ⑥ 選択すると、地図をズームアウトできます。
- ⑦ 選択すると、地図を表示できます。
- ⑧ 選択すると、ウェイポイント、トラック、ルート、アクティビティを管理できます。
- ⑨ 選択すると、Garmin Explore アカウント情報と設定を表示できます。

Garmin Explore アカウントへのログイン

デバイスを初めて使用するときは、Garmin Explore アカウントにログインするように求められます。

- 1 Explore を選択します。
- 2 エンドユーザー使用許諾契約を読み、これに同意します。
注：使用許諾契約に同意しない場合は、を選択して Garmin Explore アプリを終了できます。使用許諾契約に同意するまで、Garmin Explore アプリを使用することはできません。
- 3 次へを選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ デバイスデータを Garmin Explore アカウントと自動的に同期する場合は、マイデータの同期を選択します。
 - ・ データを同期せずに Garmin Explore アカウントを作成する場合は、後で実行を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ Garmin Explore アカウントがある場合は、メールアドレスとパスワードを入力して、次へを選択します。
 - ・ Garmin Explore アカウントをお持ちでない場合は作成を選択します。
- 6 画面に表示される指示に従って、Garmin Explore アカウントを作成またはログインします。

[地図]

Garmin Explore 地図をダウンロード中

Garmin Explore 地図をダウンロードする前にワイヤレスネットワークに接続する必要があります ([ワイヤレスネットワークに接続する](#), 51 ページ)。

- 1 Explore アプリから、 > 地図 > 地図をダウンロードの順に選択します。
現在地周辺の地図のリストが表示されます。
- 2 追加の地図タイプを表示するには、地図タイプをさらに表示を選択します (オプション)。
- 3 地図タイプを選択し、を選択します。
- 4 必要に応じて、地域を選択またはポイントを選択を選択して、別の地域またはウェイポイントの位置の地図をダウンロードします。

Garmin Explore 地図を更新する

- 1 Explore アプリから、 > 地図 > 地図の更新の順に選択します。
地図の更新のリストが表示されます。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 特定の地図をダウンロードするには、を選択します。
 - ・ すべての地図の更新をダウンロードするには、すべて更新を選択します。

地図データのフィルタリング

- 1 マップ > を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ コレクション地図データをフィルタリングするには、コレクションを選択し、オプションを選択します。
 - ・ アクティビティ地図データをフィルタリングするには、アクティビティを選択し、オプションを選択します。

Garmin Explore 地図設定

Explore アプリから、アカウントを選択します。

データ項目: 地図に、方向、高度、速度、および GPS 座標のデータフィールドを追加します。

スケールバー: 地図に距離スケールを追加します。

ズームコントロール: 地図上のズームコントロールを有効または無効にします。

単位: 測定単位を設定します。

ウェイポイントを作成する

Garmin Explore アプリを使用して、ウェイポイントを作成し、保存できます。デバイスを使用して、ウェイポイントの位置までナビゲーションすることができます。

1 マップを選択します。

2 オプションを選択します。

- 現在の位置にウェイポイントを作成するには、 > ポイントの追加を選択します。
- 地図上の別の場所にウェイポイントを作成するには、地図上の場所をタッチして、ポイントの追加を選択します。

3 必要に応じて、選択してメモを編集します。を選択して、位置情報についてメモを追加します。

ルートを作成する

1 Explore アプリから、マップ > > ルートの追加の順に選択します。

2 始点を選択します。

3 ルートへのラインを作成する追加のポイントを選択します。

4 必要に応じて、編集を選択し、ポイントを選択して移動します。

5 必要に応じて、削除を選択し、ポイントを選択します。

6 保存を選択します。

ライブラリ

ライブラリの表示

1 Explore アプリから、図書館を選択します。

2 データタイプを選択します。

3 詳細を表示する項目を選択します。

ヒント： を選択して、トラック、ルート、またはアクティビティの高度プロフィールを表示できます。

4 必要に応じて、 を選択して地域の地図をダウンロードします。

保存されている位置のナビゲーション

Garmin Explore ライブラリに保存されているウェイポイント、トラック、またはルートへのナビゲーションを開始できます。

1 Explore アプリから、図書館を選択します。

2 ポイント、軌跡、またはルートを選択します。

3 位置を選択します。

4 を選択します。

コレクションの作成

1 図書館 > 新しいコレクションの順に選択します。

2 コレクション名を入力します。

3 コレクションを選択して、追加を選択します。

4 データタイプを選択します。

5 1つ以上の項目を選択し、追加を選択します。

コレクションの表示

1 図書館を選択します。

2 コレクションを選択します。

3 データタイプを選択します。

4 詳細を表示する項目を選択します。

5 必要に応じて、 を選択して地域の地図をダウンロードします。

Garmin Explore アカウントデータの同期

アカウントデータを同期する前に、Wi-Fi ネットワークに接続する必要があります。

ウェイポイント、ルート、アクティビティなどのデータを Garmin Explore アカウントと同期できます。これは、互換性のある各デバイスでデータを利用できるようにするために役立ちます。デバイスは定期的にデータをアカウントと自動的に同期します。いつでも手動でデータを同期することもできます。

- 1 Explore アプリから、アカウントを選択します。
- 2 ユーザーデータの同期オプションが選択されていることを確認します。
- 3 を選択します。

メモリーカードを使用した GPX ファイルのインポート

ウェイポイント、ルート、トラックなどのデータを互換性のある microSD®カードから gpx ファイル形式でインポートできます。

- 1 1つ以上の gpx ファイルを含む互換性のある microSD カードをデバイスのメモリーカードスロットに挿入します ([地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する](#), 65 ページ)。
- 2 Overlander デバイスで、Explore > 図書館 > Explore にインポート > メモリカードの順に選択します。
- 3 1つ以上の gpx ファイルを選択し、選択を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 未整理の場所としてファイルをインポートするには、未整理としてインポートを選択します。
 - ・ ファイルをコレクションにインポートするには、コレクションを選択します。
- 5 インポートを選択します。

メモリーカードを使用した GPX ファイルのエクスポート

ウェイポイント、ルート、トラックなどのデータを互換性のある microSD カードにエクスポートできます。

- 1 互換性のある microSD カードをデバイスのメモリーカードスロットに挿入します ([地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する](#), 65 ページ)。
- 2 Overlander デバイスで、Explore > 図書館 > Explore からエクスポート > メモリカードの順に選択します。
- 3 1つ以上のウェイポイント、ルート、またはトラックを選択します。
- 4 エクスポートを選択します。

トラックの記録

トラッキングはパスを記録します。トラッキングを開始すると、デバイスは位置を記録し、トラックラインを更新します。デバイスが inReach®デバイスとペアリングされている場合、デバイスはトラックポイントを記録し、指定された送信間隔で衛星ネットワーク経由で転送します。

- 1  >  > トラックレコーダーを選択します。
- 2 開始を選択します。

トラッキング間隔の変更

トラッキング間隔を変更する前に、お使いのデバイスと互換性のある inReach デバイスをペアリングする必要があります。

トラッキング間隔を変更して、デバイスがどのくらいの頻度でログを記録し、トラックポイントを送信するかを決定できます。

- 1  >  > トラックレコーダー >  を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ デバイスがトラックポイントを記録して衛星ネットワーク経由で送信する頻度を変更するには、Send Interval を選択します。
 - ・ デバイスが位置情報を記録してトラックラインを更新する頻度を変更するには、ログの間隔を選択します。
- 3 間隔を選択します。

ヒント：オフを選択して、送信機能またはログ機能を無効にすることができます。

トラッキングの停止

- 1  >  > トラックレコーダー > 停止を選択します。
- 2 オプションを選択します。
 - ・ トラックの記録を続行するには、記録を再開を選択します。
 - ・ Garmin Explore で表示するためにトラックを保存するには、トラックを Garmin Explore に保存を選択します。
 - ・ トラックを破棄するには、トラックを破棄を選択します。

ピッチとロール

△ 警告

Pitch and Roll アプリケーションは、校正された測定値のみに基づく車両角度の表示を目的としています。ユーザーは、デバイスの校正を行う責任があります。校正後にデバイスの位置を変更すると、測定値の精度に影響を与える可能性があります。測定値は、デバイスへの入力のみに基づいて提案されます。環境条件に大きな変化があった場合は、頻繁かつ慎重に測定を行い、測定値が安定するまで待ちます。条件の変更やエラーの読み取りには、常に安全のための十分な余裕を持たせてください。車両と周囲の状況を把握していないと、事故が発生して重傷を負ったり、死亡事故が発生したりする恐れがあります。

車両の安定性に影響を与える可能性のある角度で車両がピッチまたはロールした場合は、アラートを発します。

ピッチとロールの校正

車両の角度はいつでもゼロに設定できます。

- 1 車両を平らで水平な場所に駐車します。
- 2 デバイスのマウント位置を調整して、画面を快適に確認できるようにします。
- 3  >  > ピッチとロール > 校正の順に選択します。

ピッチとロールの値は 0 度にリセットされます。

△ 警告

最高の精度を維持するには、デバイスの位置を変更するたびにピッチとロールを校正する必要があります。

警告角度の調整

デバイスがピッチまたはロールアラートを作動させる角度を調整できます。ユーザーには、車両の適切なピッチとロール角度を知り、設定する責任があります。

- 1  >  > ピッチとロール >  > 警告角度を選択します。
- 2 上または下にスワイプして、ピッチまたはロールの警告角度を調整します。
- 3 承諾を選択します。

警告角度アラートを有効または無効にする

- 1  >  > ピッチとロール >  を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ピッチとロールの通知を有効または無効にするには、ピッチとロールの通知を選択します。
 - ・ 警告音を有効または無効にするには、警告音を選択します。

高度計、気圧計、コンパスの表示

デバイスは、自動校正を備えた内部高度計、気圧計、およびコンパスセンサーを搭載しています。

-  >  > 高気圧を選択します。

コンパスを校正する

注記

電子コンパスは屋外で校正します。方向精度を向上させるために、金属体または磁場に影響を与える物体（車両、電子機器、建物、架空送電線など）の近くには立たないでください。

お使いのデバイスを磁気マウントに接続すると、GPSデータを使用してコンパスの方向が決定されます。磁気マウントからデバイスを取り外すと、内蔵コンパスを使用して方向が表示されます。

お使いのデバイスを磁気マウントから取り外すたびに、デバイスからコンパスを校正するように要求されます。例えば、長い距離を移動した後や極端な温度変化の後で、コンパスの動作が不規則になった場合は、コンパスを手動で校正して精度を向上させることができます。

- 1 デバイスを磁気マウントから取り外し、磁場に影響を与える物体から遠ざけます。
- 2 > コンパスの校正を選択します。
- 3 画面に表示される手順に従います。

inReach リモート

inReach リモート機能により、ご使用の Overlander デバイスで inReach デバイスを操作できます。メッセージの送信、天気予報の表示、SOS アラートの発信などを行うことができます。 inReach デバイスを購入するには、buy.garmin.com にアクセスしてください。

inReach デバイスの接続

- 1 inReach デバイスを Overlander デバイスから 3 m (10 ft.) 内に置きます。
- 2 Overlander デバイスで を選択します。
- 3 Explore タブを選択します。
- 4 inReach を選択します。
- 5 Overlander デバイスの画面の指示に従って、ペアリングプロセスを完了します。

ペアリングプロセスが完了すると、inReach と Overlander デバイスが通信範囲内にあるときに、デバイスが自動的に接続されます。

inReach メッセージの送信

Overlander デバイスを使用して inReach メッセージを送信する前に、互換性のある inReach デバイスとペアリングする必要があります (inReach デバイスの接続, 37 ページ)。

デバイスを使用して、連絡先に inReach メッセージを送信できます。

- 1 > > inReach > を選択します。
- 2 1つまたは複数の連絡先を追加するには、 を選択します。
- 3 メッセージを入力します。
- 4 送信を選択します。

SOS

緊急時には、GEOS 国際緊急対応連携センター (IERCC) に連絡して支援を要請できます。 SOS ボタンを押すと、緊急対応連携センターにメッセージが送信され、適切な緊急対応要員に状況を通知します。救急隊員が到着するのを待つ間に、緊急対応連携センターと連絡を取ることができます。 SOS 機能は、実際の緊急事態でのみ使用してください。

SOS 救助の開始

Overlander デバイスを使用して SOS 救出を開始する前に、デバイスを互換性のある inReach デバイスとペアリングする必要があります (inReach デバイスの接続, 37 ページ)。

注：SOS モードでは、inReach デバイスをオフにすることはできません。

1  >  > inReach >  > SOS を選択します。

2 SOS アイコンを右にスライドさせます。

3 SOS カウントダウンが始まるまで待ちます。

デバイスは、現在地の詳細により既定のメッセージを緊急対応サービスに送信します。

4 緊急対応サービスからの確認メッセージに返信します。

返信することで、救助中に対応できることを緊急対応サービスに知らせることができます。

救助の最初の 10 分間は、更新された場所が 1 分ごとに緊急対応サービスに送信されます。最初の 10 分以降にバッテリ電力を節約するため、移動中は更新された位置が 10 分ごとに送信され、静止中は 30 分ごとに送信されます。

SOS 救助のキャンセル

サポートが不要になった場合は、緊急対応サービスに送信した後に SOS 救助をキャンセルできます。

SOS をキャンセル > SOS をキャンセルの順に選択します。

デバイスがキャンセルリクエストを送信します。緊急対応サービスから確認メッセージを受信すると、デバイスは通常の動作に戻ります。

ハンズフリー通話

注：ほとんどの携帯電話とヘッドセットは対応しており使用できますが、特定の携帯電話やヘッドセットの使用は保証できません。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。

Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを携帯電話とワイヤレスヘッドセットまたはヘルメットに接続し、ハンズフリーデバイスとして使用することができます。お使いの Bluetooth 技術搭載デバイスがデバイスに対応しているかどうかを確認するには、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。

電話をペアリングする

ハンズフリー通話を使用するには、互換性のある携帯電話をお使いのデバイスとペアリングする必要があります。

1 電話と Overlander デバイスの距離が 3 m (10 ft) 以内になるようにします。

2 電話側で Bluetooth 無線技術を有効にして、電話を他のデバイスで認識または検出できるように設定します。
詳細については、電話のマニュアルを参照してください。

3 Overlander デバイスで、 > Bluetooth を選択します。

4 トグルスイッチを選択して、Bluetooth 技術をオンにします。

周辺にある Bluetooth デバイスのリストが表示されます。

5 リストからお使いの電話を選択します。

6 必要に応じて、電話に表示されるコードが Overlander デバイスに表示されるコードと一致するか確認します。

7 ペアリングを選択します。

注：Overlander デバイスで連絡先と通話ログを表示するには、電話の Bluetooth 設定に移動して、ペアリングされた Overlander デバイスの連絡先共有権限を有効にすることが必要になる場合があります。詳細については、電話のマニュアルを参照してください。

デバイスをペアリングした後のヒント

- 初回のペアリング後、電源をオンにするたびに、2つのデバイスは自動的に接続されます。
- 電話がデバイスに接続されたら、音声通話を受信する準備は完了です。
- 電源をオンになると、デバイスは最後に接続した電話に接続を試みます。
- また、デバイスをオンにしたとき、デバイスと自動的に接続するように、電話での設定が必要な場合があります。
- 電話をかけるには、お使いの電話機の Bluetooth 設定でナビゲーションデバイスに対して連絡先共有権限を有効にする必要があります。
- 使用する Bluetooth 機能が有効になっていることを確認する必要があります。

追加 Bluetooth デバイスのペアリング

- ヘッドセットまたは電話と Bluetooth デバイスの距離は 10 m (33 ft.) 以内になるようにします。
- デバイス側で Bluetooth 無線機能を有効にします。
- ヘッドセットまたは電話で、Bluetooth 無線技術を有効にして、他の Bluetooth デバイスに表示されるようにします。
- デバイスで  > **Bluetooth** の順に選択します。
周辺にある Bluetooth デバイスのリストが表示されます。
- リストからヘッドセットまたは電話を選択します。
- ペアリングを選択します。

電話をかける

- を選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 電話をかけるには、を選択してから電話番号を入力し、を選択します。
 - 最近電話をかけた、または最近着信があった電話番号に電話するには、を選択し、電話番号を選択します。
 - 電話帳にある連絡先に電話をかけるには、を選択し、次に連絡先を選択します。

電話を受ける

電話がかかってきたときには、回答または却下を選択します。

通話中オプションを使用する

通話中オプションは、電話に出ると表示されます。一部のオプションはお使いの電話に対応していない可能性があります。

ヒント：いったん通話中オプションページを閉じた後、メインメニューから  を選択することで、通話中オプションページをもう一度開くことができます。

- 会議通話を設定するには、を選択します。
 - 音声の出力先を電話に切り替えるには、を選択します。
- ヒント：この機能は、Bluetooth の接続を解除して通話を継続する場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。
- ダイヤルパッドを使用するには、を選択します。
- ヒント：この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。
- マイクをミュートするには、を選択します。
 - 電話を切るには、を選択します。

電話番号をプリセットとして保存する

連絡先を3つまでプリセットとしてダイヤルパッドに保存できます。これにより、自宅の電話番号、家族、または頻繁に連絡する連絡先にすばやく電話をかけることができます。

- 1  >  の順に選択します。
- 2 プリセット1などのプリセット番号を保持します。
- 3 連絡先を選択します。

Bluetoothデバイスの取り外し

ペアリングされているデバイスのリストから削除しないで、Bluetoothデバイスを一時的に取り外すことができます。Bluetoothデバイスは、今後もOverlanderデバイスに自動的に接続できます。

- 1  > **Bluetooth** の順に選択します。
- 2 接続を解除するデバイスを選択します。

ペアリングしたBluetoothデバイスを削除する

ペアリングしたBluetoothデバイスを削除して、今後自動的にOverlanderデバイスに接続できないようにすることができます。ペアリングしたスマートフォンを削除した場合も、すべての同期された電話帳の連絡先および通話履歴がOverlanderデバイスから削除されます。

- 1  > **Bluetooth** を選択します。
- 2 Bluetoothデバイス名の横の > **破棄**を選択します。

ペアリングした電話を削除する

ペアリングした電話とのペアリングを解除して、今後自動的にデバイスに接続できないようにできます。

- 1  > **Bluetooth** を選択します。
- 2 デバイス名の横の > **破棄**を選択します。

[ト ラ フ ィ ッ ク]

注記

Garminは交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

お使いのデバイスは、この先の道路やルート上の渋滞に関する情報を提供できます。アクティブルートで大きな交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようにデバイスを設定できます(ト ラ フ ィ ッ ク 設 定, 51 ページ)。交通渋滞地図を使用すると、地域の交通遅延の地図を参照できます。

交通情報を提供するには、デバイスがト ラ フ ィ ッ ク データを受信している必要があります。

- すべての製品モデルは、無線ト ラ フ ィ ッ ク レシーバーケーブルアクセサリを使用して、ト ラ フ ィ ッ ク データを受信できます(ト ラ フ ィ ッ ク レシーバーを使用してト ラ フ ィ ッ ク データを受信する, 41 ページ)。garmin.comで製品のページに移動し、互換性のあるト ラ フ ィ ッ ク レシーバーケーブルアクセサリを検索して購入します。

ト ラ フ ィ ッ ク データを利用できない地域もあります。ト ラ フ ィ ッ ク 情報を利用できる地域については、garmin.com/trafficを参照してください。

トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する

注記

ヒーター付き（熱線付き）フロントガラスは、交通情報受信機の性能を低下させることができます。

トラフィックレシーバーは、利用可能な場合、無線プロードキャスト信号からトラフィックデータを受信します。無線トラフィックレシーバーケーブルはすべての製品モデルでアクセサリとして使用できます。garmin.com で製品のページに移動し、互換性のあるトラフィックレシーバーケーブルアクセサリを検索して購入します。トラフィックデータを利用できない地域もあります。

トラフィックレシーバーケーブルを使用して、デバイスを車両電源に接続します（[車両へのデバイスの取り付けと電源の供給](#)、3 ページ）。

注：トラフィックレシーバーは、内蔵デジタルトラフィックレシーバー用のアンテナを内蔵しています。可能な場合、デジタルトラフィックレシーバーは、HD Radio™技術を使用して FM ラジオ局からトラフィックデータを受信します。

ユーザーがトラフィック情報を利用できる地域にいれば、デバイスはトラフィック情報を表示でき、交通遅延の回避に役立ちます。

トラフィックを有効にする

トラフィックを有効にする前に、デバイスを互換性のあるトラフィックレシーバーケーブルに接続する必要があります（[トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する](#)、41 ページ）。

トラフィックデータを有効または無効にできます。

- 1 > ナビゲーション > トラフィックの順に選択します。
- 2 トラフィックチェックボックスをオンにします。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、 > > トラフィックを選択します。
- 2 必要に応じて、 > 凡例を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、 > > トラフィックを選択します。
- 2 > 事故の順に選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

音声コマンド

注：すべての言語や地域で音声コマンドが使用できるわけではありません。また、音声コマンドを利用できないモデルもあります。

注：周囲の音が大きい場合、音声認識ナビが望ましい性能を発揮できない可能性があります。

音声コマンドを使って、単語やコマンドを読み上げてデバイスを使用することができます。[音声コマンド] メニューには、音声プロンプトや利用可能なコマンドのリストが表示されます。

ウェイクアップフレーズを設定する

ウェイクアップフレーズは、音声コマンドをアクティブにするために使用する単語またはフレーズです。デフォルトのウェイクアップフレーズは「OK Garmin」です。

ヒント：強いウェイクアップフレーズを使用して、音声コマンドが誤動作する可能性を減らすことができます。

- 1 > > 音声コマンド > > ウェイクアップフレーズの順に選択します。
 - 2 新しいウェイクアップフレーズを入力します。
 - 3 OKを選択します。
- フレーズを入力すると、デバイスにウェイクアップフレーズの強度が示されます。

音声コマンドを有効化する

- 1 OK Garmin と発音します。
[音声コマンド] メニューが表示されます。
- 2 メニューのコマンドを発音します。
- 3 音声案内に応答して、検索または操作を完了します。

音声コマンドのヒント

- ・ デバイスで指定される通常の音声で発音します。
- ・ 音声やラジオなどの暗騒音を減らすと、音声認識の精度が向上します。
- ・ 画面にコマンドが表示されたら、そのコマンドを発音します。
- ・ 必要に応じて、デバイスからの音声案内に応答します。
- ・ 音声コマンドの誤作動を減らすには、ウェイクアップフレーズを長くします。
- ・ デバイスが音声コマンドへ移行したこと、および終了したことを確認する 2 つのトーンを聞きます。

音声コマンドを使用してナビゲーションを開始する

人気のある、有名な場所の名前を発音できます。

- 1 ウェイクアップフレーズを発音します ([ウェイクアップフレーズを設定する, 41 ページ](#))。
- 2 場所の検索と発音します。
- 3 音声案内を聞き、場所の名前を発音します。
- 4 行番号を発音します。
- 5 ナビゲーションと発音します。

ミュートの手順

デバイスをミュートせずに、音声コマンドの音声案内を無効にすることができます。

- 1  >  > 音声コマンド >  を選択します。
- 2 指示をミュート (消音) にする > 有効の順に選択します。

アプリケーションを使用する

デバイスのマニュアルの表示

デバイス画面では、多くの言語の完全なマニュアルを表示できます。

- 1  > ヘルプの順に選択します。
マニュアルはソフトウェアの言語と同じ言語で表示されます ([テキスト言語を設定する, 52 ページ](#))。
- 2 [] を選択してマニュアルを検索します (オプション)。

前のルートと目的地を表示する

この機能を使用する前に、走行履歴機能を有効にする必要があります ([デバイス設定, 52 ページ](#))。

前のルートと停止した場所を地図上に表示することができます。

- 1  > 目的地の履歴を選択します。

Fusion-Link™ワイヤレスリモートコントロールアプリ

Overlander デバイスの Fusion-Link リモコンアプリを使用して、互換性のある Fusion®ステレオを制御できます。音量の調整、ソースの変更、再生の制御、ラジオプリセットの選択と管理、ステレオ設定の調整、およびステレオでの DSP プロフィールの設定を行うことができます。

このアプリは、Overlander デバイスへのワイヤレス接続を使用してステレオと通信します。アプリを使用するには、Bluetooth テクノロジーを使用してデバイスをステレオに接続する必要があります。

ステレオを Wi-Fi ネットワークに接続すると、アプリはそのネットワークを使用してステレオと通信できるようになります。このネットワークは、Bluetooth 接続よりも広い範囲を提供します。

Bluetooth を使用してステレオに接続する

- 1 互換性のある Fusion ステレオで Bluetooth 検出可能モードを有効にします。
- 2 Overlander デバイスをオンにし、デバイスとステレオの距離が 10 m (33 ft.) 以内になるようにします。
- 3 Overlander デバイスで、⚙️ > **Bluetooth** を選択します。
- 4 利用可能なデバイスのリストから Fusion ステレオを選択します。

ワイヤレスネットワークを使用したステレオへの接続

Overlander デバイスは、同じワイヤレスネットワークに接続されている互換性のある Fusion ステレオに接続できます。

- 1 次の中からオプションを選択します。
 - Fusion ステレオを車両のイーサネットまたはワイヤレスネットワークに接続します。
 - Fusion ステレオにワイヤレスネットワークが内蔵されている場合は、ステレオ設定でワイヤレスネットワークを有効にします。
- 2 Overlander デバイスで、⚙️ > **Wi-Fi** を選択します。
- 3 ステレオが接続されているのと同じワイヤレスネットワークを選択します。
- 4 必要に応じて、パスワードを入力します。

音楽の再生

音楽を再生する

- 1 ⚙️ > 🎵 > **Fusion Link** の順に選択します。
- 2 リストからステレオを選択します。
- 3 必要に応じて、曲または放送局を選択します。

ソースを選択する

- 1 ソースアイコンを選択します。
ソースアイコンはステレオ画面の左上隅にあり、現在選択されているソースを示します。
- 2 ソースを選択します。

再生コントロール

画面上の再生コントロールは、選択したソースによって異なる場合があります。

	選択すると、メディアの再生を一時停止します。
	選択すると、メディアを再生するか、メディアの再生を再開します。
	<ul style="list-style-type: none">選択すると前のトラックにスキップします（該当するソースを使用している場合）。長押しするとトラックが巻き戻されます（該当するソースを使用している場合）。AM または FM ソース：<ul style="list-style-type: none">選択すると、前回の局やプリセットにチューニングされます。長押しすると、チューニングが速くなります（手動モードのみ）。
	<ul style="list-style-type: none">選択すると次のトラックにスキップします（該当するソースを使用している場合）。押し続けると、トラックが早送りされます（該当するソースを使用している場合）。AM または FM ソース：<ul style="list-style-type: none">選択すると、次の局またはプリセットにチューニングされます。長押しすると、チューニングが速くなります（手動モードのみ）。
	選択すると、チューニングモード（自動または手動）とプリセットが切り替わります。 長押しすると、現在の局がプリセットとして保存されます。
	現在のゾーンの音量を上げる場合に選択します。
	現在のゾーンの音量を下げる場合に選択します。
感度	補助入力ソースでスライダを動かすと、ゲインが増減します。

オーディオコントロール

ゾーンの音量の調整

- > > Fusion Link > の順に選択します。
- スライダーを動かして、ゾーンの音量を調節します。

接続したすべてのステレオをミュートする

このステレオまたはネットワークに接続されているすべてのステレオの音声をしばらくミュートできます。

- いずれかのソースで、を選択します。
ミュート記号が表示され、このステレオの音声が消えます。

トーンを調整する

- > > Fusion Link > > ミュージックの順に選択します。
- ゾーンを選択します。
- トーンを選択します。
- スライダーバーを動かして、各トーンのレベルを調整します。

ゾーンの大音量設定を無効にする

大きい設定は、音量が小さいときの周波数応答が維持され、音量が大きいときの知覚音量が大きくなります。
この設定は、すべてのゾーンでデフォルトで有効になっています。

- > > > ミュージックの順に選択します。
- ゾーンを選択します。
- 大きいを選択して、設定を有効または無効にできます。

補助デバイスのゲインを調整する

接続した補助デバイスのゲインを調整して、他のメディアソースと同様の音量レベルにすることができます。ゲインは 1 dB 単位で調整できます。

- 1 補助ソースを選択します。
- 2 スライダを動かして、ゲインを増減します。

注：ポータブルメディアプレーヤーをヘッドフォン出力で使用するときに最高の音質を得るには、ゲインを調整するのではなく、メディアプレーヤーの音量を調節することをお勧めします。

スピーカーゾーン

1つのエリアのスピーカーをグループ化して、スピーカーゾーンにすることができます。これにより、ゾーンの音声レベルを個別に制御できます。たとえば、キャビン内のオーディオの音量を下げ、デッキの音量を上げることができます。

バランス、音量制限、トーン、サブウーファーレベル、サブウーファー周波数、および各ゾーンの名前、その他のゾーン固有の設定を設定できます。

ゾーンのオーディオ設定を調整する

- 1  >  > Fusion Link >  > ミュージックの順に選択します。

- 2 ゾーンを選択します。

- 3 高を選択します。

- 4 オプションを選択します（複数可）。

注：一部のゾーンで、使用できないオプションがある場合があります。

- ・ このゾーンの最大ボリュームレベルを制限するには、ボリューム制限を選択してレベルを調整します。
- ・ このゾーンのサブウーファーレベルを設定するには、サブレベルを選択してレベルを調整します。
- ・ このゾーンの左右のスピーカーバランスを調整するには、バランスを選択してバランスを調整します。

サブウーファーフィルタを調整する

サブウーファーフィルタ設定を使用して、各ゾーンのサブウーファーのカットオフ周波数を制御できます。これにより、スピーカーとサブウーファーによって作り出されるサウンドの融合を増進できます。選択したカットオフ周波数を超える音声信号は、サブウーファには送信されません。

注：DSP 設定がゾーンに適用されている場合、この設定をステレオで変更することはできません。DSP コントローラによって計算された最適なカットオフ周波数の DSP 設定を表示できますが、調整することはできません。

- 1  >  > Fusion Link >  > ミュージックの順に選択します。

- 2 ゾーンを選択します。

- 3 サブウーファーフィルタを選択します。

- 4 周波数を選択します。

DSP 設定

一部の Fusion ステレオには、デジタル信号処理 (DSP) が搭載されています。Fusion スピーカーとアンプにあらかじめ設定された DSP 設定を選択して、音質を最適化できます。

すべての DSP 設定は Fusion-Link リモートコントロールアプリで設定できます。

注：この機能を利用できないステレオモデルもあります。

DSP 設定を構成する

DSP 設定を構成して、Fusion スピーカーとアンプを使用する各ゾーンのサウンドを最適化できます。

- 1  >  > Fusion Link >  > ミュージックの順に選択します。

- 2 ゾーンを選択します。

- 3 DSP 設定を選択します。

- 4 ゾーンに接続されている Fusion スピーカーおよびアンプのモデルに応じて、DSP 設定を必要に応じて構成します。

- 5 これらの手順をゾーンごとに繰り返します。

- 6 すべてのゾーンの DSP 設定の構成が完了したら、DSP 設定の送信を選択します。

プリセット

お気に入りの AM 放送局および FM 放送局をプリセットとして保存して、簡単にアクセスできるようにすることができます。

放送局をプリセットとして保存する

- 1 該当するソースを選択した状態で、ステレオを放送局またはチャンネルにチューニングします。
- 2 **M A★**を長押しします。

プリセットをリストから選択する

- 1 該当するソースを選択した状態で、**★**を選択します。
- 2 プリセットを選択します。

プリセットを削除する

- 1 該当するソースを選択した状態で、**★**を選択します。
- 2 **■**を選択します。
- 3 削除する各プリセットを選択します。
- 4 プリセットの削除が完了したら、**■**を選択します。

オーディオ設定

●>🔍>Fusion Link>⚙️の順に選択します。

ミュージック: スピーカーゾーンを構成できます。

チューナーの地域: さまざまなラジオのソースで使用する地域を設定します。

デバイス名: このステレオの名前を設定します。

検索中: Fusion Alpha Search Technology (FAST) を有効にします。 トラックを文字または数字ですばやく検索できるようになります。 FAST メニューを有効にするために必要な、最小トラック数を設定できます。 FAST 検索は、この数を超えるトラックがデバイスに含まれている場合に使用できます。

更新: ステレオおよび SP 設定ソフトウェアを更新できます。

バージョン情報: ステレオのソフトウェアバージョン情報を表示します。

スピーカーゾーンの設定

ゾーン名を設定する

スピーカーゾーンに名前を設定して、見分けやすくすることができます。

- 1 **●>🔍>Fusion Link>⚙️>ミュージック**の順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 ゾーン名を選択します。
- 4 オンスクリーンキーボードを使用して名前を入力し、**OK**を選択します。

ゾーンをリンクする

ゾーン 1 と 2 をリンクして、音量レベルを同期したままにすることができます。 リンクしたゾーンのどちらかの音量を調整すると、両方のゾーンの音量に影響が及びます。

●>🔍>Fusion Link>⚙️>ミュージック>ゾーン 2>ゾーン 1 ヘリンクの順に選択します。

注: ゾーン 1 と 2 をリンクした後は、各ゾーンの音量を別々に調整することはできません。

ゾーンを無効にする

未使用的ゾーンを無効にして、オーディオレベルのページから削除できます。 ゾーンが無効になっていると、そのゾーンの設定を変更することはできません。 ゾーン 3 および 4 のみを無効にできます。

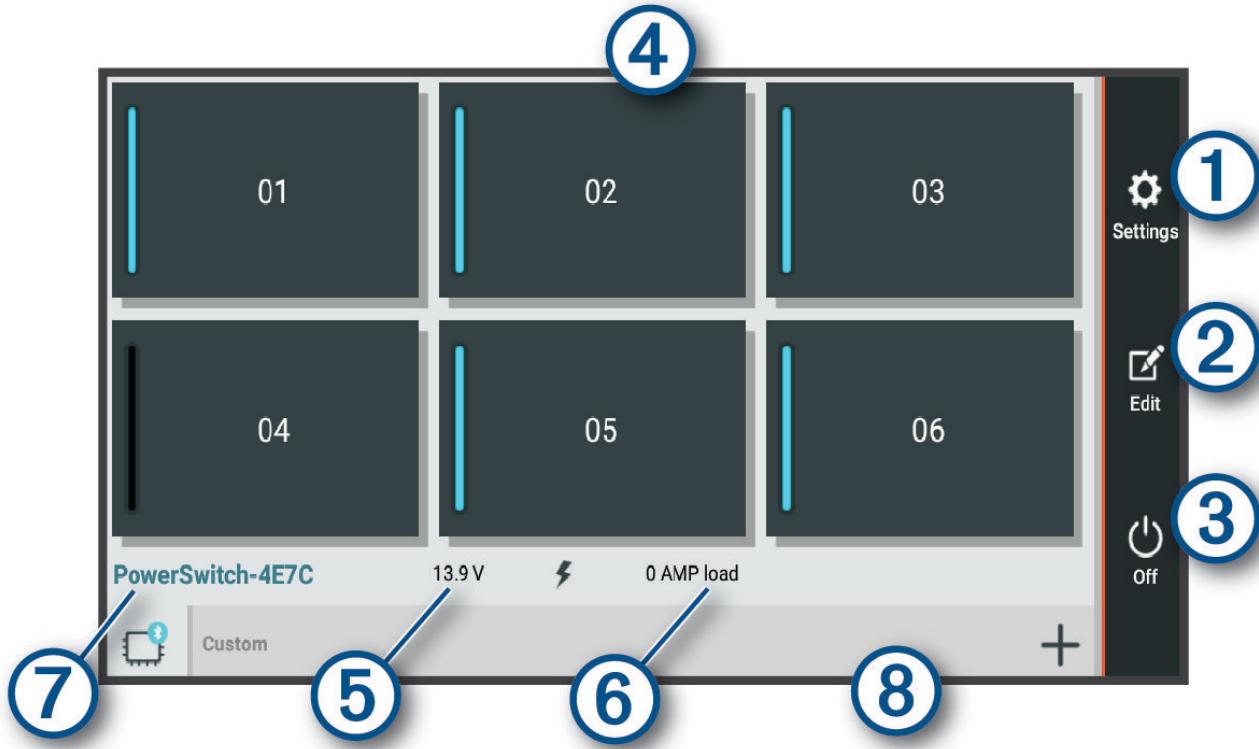
- 1 **●>🔍>Fusion Link>⚙️>ミュージック**の順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 **有効なゾーン**を選択します。

内蔵アンプを無効にする

スピーカーを直接ゾーン 1 とゾーン 2 に接続しない場合は、内蔵アンプを無効になると消費電力を削減できます。

- 1 > > > 一般の順に選択します。
- 2 内蔵アンプを選択します。

Garmin PowerSwitch™アプリ



①	アプリ設定メニューを開きます
②	編集モードを開始して、アプリのレイアウトと機能をカスタマイズします
③	すべての出力をオフにします
④ 電源ボタン	接続された各出力を有効にします
⑤	入力電圧を表示します
⑥	選択した Garmin PowerSwitch デバイスの合計アンペア数を表示します
⑦	デバイス名を表示します
⑧	Garmin PowerSwitch デバイスタブとカスタムレイアウトタブを表示します

電源スイッチの有効化

Garmin PowerSwitch アプリを使用してスイッチを有効にする前に、Garmin PowerSwitch デバイスを車両に取り付けて、Garmin PowerSwitch アプリとペアリングする必要があります。

Garmin PowerSwitch アプリから電源ボタンを選択し、スイッチのオン / オフを切り替えます。

すべてのスイッチをオフにする

を選択します。

ボタンのカスタマイズ

1 Garmin PowerSwitch アプリ画面から、を選択します。

アプリケーションが編集モードになります。

2 カスタマイズするボタンで、を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- ボタンの名前を変更するには、Button Label フィールドを選択し、名前を入力します。
- ボタンにアイコンを追加するには、アイコンフィールドを選択し、アイコンを選択します。
- ボタンの色を変更するには、色を選択します。
- ボタンモードを変更するには、ボタンモードを選択します。
- スイッチの輝度を調整するには、スライダーを使用します。
- 制御入力で有効にするボタンを設定するには、制御入力を選択します。

4 を選択します。

5 OKを選択します。

スイッチを制御入力へ割り当てる

制御入力機能を使用する前に、制御入力を Garmin PowerSwitch デバイスに接続する必要があります (制御入力の接続, 62 ページ)。

Garmin PowerSwitch デバイスが制御入力から信号を受信したときにオンにするスイッチを 1 つ以上割り当てることができます。

1 を選択します。

2 ご使用の Garmin PowerSwitch デバイスを選択します。

3 制御入力を選択します。

4 1 つ以上のスイッチを選択します。

カスタムレイアウトの追加

Garmin PowerSwitch アプリにカスタムレイアウトタブを追加できます。カスタムレイアウトに追加したボタンは、同時に複数のスイッチを制御できます。

1 Garmin PowerSwitch アプリから、を選択します。

デバイスが編集モードになります。

2 を選択します。

カスタムレイアウトヘボタンを追加する

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 **Add Button** を選択します。
- 4 新しいボタンで、 を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ボタンの名前を変更するには、**Button Label** フィールドを選択し、名前を入力します。
 - ・ ボタンにアイコンを追加するには、**アイコンフィールド**を選択し、アイコンを選択します。
 - ・ ボタンの色を変更するには、色を選択します。
- 6 **Add Action** を選択します。
- 7 必要に応じて、Garmin PowerSwitch デバイスとスイッチを選択します。
- 8 以下のようにして、アクションを選択します。
 - ・ ボタンを押すたびにスイッチのオン / オフを切り替えるように設定するには、**Toggle** を選択します。
 - ・ スイッチをオンにするようボタンを設定するには、**オンにする**を選択します。
 - ・ スイッチをオフにするようボタンを設定するには、**オフにする**を選択します。
- 9 ボタンモードを選択します。
 - ・ ワンタッチで有効にするようボタンを設定するには、**標準**を選択します。
 - ・ ボタンにタッチしている間のみ有効にするようボタンを設定するには、**瞬時**を選択します。
 - ・ ボタンを繰り返しオン / オフするように設定するには、**Strobe** を選択し、時間間隔を選択します。
- 10 必要に応じて、スライダーを使用して照明の明るさを設定します。
- 11  を選択します。
- 12 必要に応じて、**Add Action** を選択して、ボタンのアクションを追加します。
Garmin PowerSwitch デバイスのスイッチごとに 1 つのアクションを追加できます。

カスタムレイアウトでのボタンの配置

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 移動するボタンで を押したまま、ボタンを新しい場所にドラッグします。

カスタムレイアウトまたはボタンの削除

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ボタンを削除するには、削除するボタンのを選択します。
 - ・ レイアウトタブを削除するには、レイアウトタブのを選択します。

Overlander 設定

ナビゲーション設定

⚙️ > ナビゲーションを選択します。

車両プロファイル: デバイスを使用する各車両の車両プロファイルを設定します。

地図 / 車両: 地図の詳細度と、デバイスに表示する車両アイコンを設定します。

ルートの環境設定: ナビゲーション時のルート探索の環境設定を設定します。

安全運転支援: 運転者支援警告を設定します。

トラフィック: デバイスで使用するトラフィックの詳細を設定します。アクティブルートで交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようにデバイスを設定できます(ルート上の交通遅延を回避する, 15 ページ)。

単位: 距離の測定に使用する単位を設定します。

地図および車両設定

⚙️ > ナビゲーション > 地図 / 車両の順に選択します。

車両: 地図上で自分の位置を示す車両アイコンを設定します。

運転地図表示: 地図の表示方法を設定します。

詳細度: 地図の詳細度を設定します。 詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

地図テーマ: 地図データの色を変更します。

地図レイヤー: 地図ページに表示するデータを設定します(地図レイヤーをカスタマイズする, 31 ページ)。

自動ズーム: 地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

マイマップ: デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

ヒント: 追加の地図製品を購入するには、<http://buy.garmin.com> にアクセスしてください。

1 ⚙️ > ナビゲーション > 地図 / 車両 > マイマップを選択します。

2 地図を選択します。

[ルート探索の環境設定] の設定

⚙️ > ナビゲーション > ルートの環境設定の順に選択します。

ルートのプレビュー: ナビゲーションを開始すると、ルートの幹線道路のプレビューを表示します。

計算モード: ルート計算方法を設定します。

回避: ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

カスタム回避: 特定の道路や地域を回避することができます。

環境ゾーン: お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域に回避の環境設定を行います。

有料道路: 有料道路を回避する環境設定を設定します。

注: この機能を利用できない地域もあります。

通行料金: 有料道路と料金ステッカーを回避する環境設定を設定します。

注: この機能を利用できない地域もあります。

制限モード: 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

音声言語: ナビゲーション音声案内の言語を変更します。

走行履歴: デバイスで、myTrends、目的地の履歴、および軌跡ログ機能に関する情報を記録します。

走行履歴の消去: myTrends、目的地の履歴、および軌跡ログ機能から走行履歴を消去します。

運転者支援の設定

⚙️ > ナビゲーション > 安全運転支援の順に選択します。

オーディブルドライバーアラート: 各種ドライバーアラートごとに警告音を有効にできます (ドライバーへの注意喚起の機能とアラート, 10 ページ)。

スピードカメラアラート: スピードカメラや赤信号カメラに近づいたときに警告します。

トラフィック設定

メインメニューで、⚙️ > ナビゲーション > トラフィックの順に選択します。

トラフィック: トラフィックを有効にします。

現在のプロバイダ: トラフィックデータに使用するトラフィックプロバイダを設定します。自動オプションでは、利用可能な最適なトラフィックデータが自動的に選択されます。

サブスクリプション: 現在のトラフィックサブスクリプションをリスト表示します。

最適なルート: 最適な代替ルートを自動的、または要求に応じて使用できるようにします (ルート上の交通遅延を回避する, 15 ページ)。

交通アラート: 交通アラートを表示する交通遅延状態の程度を設定します。

Bluetooth 無線技術を有効にする

⚙️ > Bluetooth の順に選択します。

ワイヤレスネットワークに接続する

1 ⚙️ > Wi-Fi を選択します。

2 必要に応じて切り替えスイッチを選択して、ワイヤレスネットワークを有効にします。

3 ワイヤレスネットワークを選択します。

4 必要に応じて暗号キーを入力します。

デバイスがワイヤレスネットワークに接続されます。デバイスがネットワーク情報を記憶し、この場所に戻ったときに、自動的に接続します。

ディスプレイ設定

⚙️ > 表示を選択します。

輝度レベル: デバイスのディスプレイの輝度レベルを設定します。

自動輝度調整: デバイスがマウントから取り外されたときにバックライトの輝度を周辺光に応じて自動的に調整します。

テーマ: 昼または夜のカラー モードを選択できます。自動オプションを選択すると、時刻により昼または夜のカラーが自動的に切り替わります。

壁紙: デバイスの壁紙背景を設定します。

スリープ: バッテリー電源の使用時にデバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定できます。

Daydream: Daydream スクリーンセーバーを有効または無効にします。

フォントサイズ: デバイスのフォントサイズを増減します。

自動回転: デバイスの向きに基づいて画面を縦向き表示モードと横向き表示モードの間で自動的に切り替えるか、または現在の向きのままにすることができます。

注: デバイスが車両マウントに接続されているときは、横向きモードのみがサポートされます。

キャスト: デバイスの画面の内容を互換性のある外部ディスプレイにワイヤレスで表示できます。

サウンドと通知の設定

 > サウンドと通知を選択します。

音量スライダ: ナビゲーション、メディア、通話、アラーム、および通知警告の音量レベルを設定します。

サイレントモード: 自動サイレントモード機能のルールを設定します。この機能を使用すると、特定の時間帯またはイベント中の警告音を無効にすることができます。

デフォルトの着信音: デバイスのデフォルトの着信音を設定します。

サウンドと通知の音量を調整する

1  > サウンドと通知の順に選択します。

2 スライダーを使用して、サウンドと通知の音量を調整します。

位置情報サービスを有効または無効にする

デバイスで現在地の検索、ルート計算、ナビゲーション支援の提供を行うには、位置情報サービス機能を有効にする必要があります。位置情報サービスは、バッテリー電力を節約する場合や、GPS信号を利用せずに屋内でルートを計画する場合に無効にすることができます。位置情報サービスが無効なときは、GPSシミュレーターを使用してルートを計算し、シミュレートすることができます。

1  > 位置情報を選択します。

2 トグルスイッチを選択して、位置情報サービスを有効または無効にします。

注: ほとんどの用途では、モード設定をデフォルトオプションのデバイスのみから変更しないでください。このデバイスには、ナビゲート時に最も正確な位置データを提供する高性能 GPS アンテナが組み込まれています。

テキスト言語を設定する

デバイスソフトウェアのテキストの言語を選択できます。

1  > 言語 / 入力 > 言語の順に選択します。

2 言語を選択します。

日付と時刻の設定

 > 日付と時刻を選択します。

日付と時刻の自動設定: 接続されたネットワークからの情報に基づいて時間を自動的に設定します。

日付の設定: デバイスの月、日、および年を設定します。

時刻の設定: デバイスの時刻を設定します。

タイムゾーンの選択: デバイスのタイムゾーンを設定します。

24 時間表示を使用: 24 時間形式を有効または無効にします。

デバイス設定

 > デバイスについてを選択します。

システムの更新: 地図とデバイスソフトウェアを更新できます。

ステータス: 電池の状態とネットワーク情報を表示します。

法規制情報: エンドユーザー使用許諾契約 (EULA) およびソフトウェアライセンス情報を表示できます。

規制情報: E ラベルの規制および規制準拠に関する情報を表示します。

Garmin デバイス情報: ハードウェアおよびソフトウェアバージョン情報を表示します。

設定を初期化する

設定のカテゴリーを工場出荷時の初期設定値に戻すことができます。

1  を選択します。

2 設定のカテゴリーを選択します。

3  > 初期化を選択します。

データと設定をリセットする

ユーザーデータを削除して、すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、複数の方法があります。

1 を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 走行履歴を消去するには、ナビゲーション > ルートの環境設定 > 走行履歴の消去を選択します。
このオプションを選択すると、これまでに走行した場所の全記録が削除されます。保存した位置情報やアカウント、アプリ、インストール済みの地図は削除されません。
- ナビゲーション設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、ナビゲーション >  > 初期化の順に選択します。
このオプションを選択してもユーザーデータは削除されません。
- 保存されているすべてのワイヤレスネットワークとペアリング済みデバイスを削除するには、デバイスのリセット > ネットワーク設定のリセットの順に選択します。
このオプションを選択しても他のユーザーデータは削除されません。
- すべてのユーザーデータを削除して、すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、デバイスのリセット > 工場出荷時データの再設定の順に選択します。
このオプションを使用すると、走行履歴、アプリ、アカウント、設定、保存されたネットワーク、ペアリングされたデバイス、およびその他のすべてのユーザーデータが削除されます。インストール済みの地図は削除されません。Garmin フォルダ内のユーザーファイルは削除されません。

デバイス情報

E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示

1 設定メニューから、メニューの下部にスワイプします。

2 デバイスについて > 規制情報を選択します。

仕様

動作温度範囲	-20° ~ 55°C (-4° ~ 131°F)
充電温度範囲	0° ~ 45°C (32° ~ 113°F)
無線周波数 / プロトコル	2.4 GHz @ 15 dBm
電源入力	付属の車両用電源ケーブルを使用した電源供給 別売アクセサリーを使用して AC 電源から電源供給 (家庭やオフィスでの使用時限定)
電池タイプ	充電式リチウムイオン
コンパス安全距離	30.5 cm (12 in.)

デバイスを充電する

注：このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。

以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- デバイスをマウントに取り付けて、マウントを車両電源に接続します。
- コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリにデバイスを接続します。

家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの GarminAC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。デバイスがサードパーティ製アダプタに接続されている場合、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

デバイスのメンテナンス

Garmin サポートセンター

製品マニュアル、よく寄せられる質問（FAQ）、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、support.garmin.com を参照してください。

Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新

注記

地図やソフトウェアの更新では、デバイスで大きなファイルをダウンロードする必要がある場合があります。通常のデータ制限や料金がインターネットサービスプロバイダから適用されます。データ制限や料金の詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

インターネットへのアクセスを提供する Wi-Fi ネットワークにデバイスを接続することで、地図やソフトウェアを更新できます。これにより、デバイスをコンピュータに接続しないで最新の状態に保つことができます。

- 付属の USB ケーブルを使用して、デバイスを外部電源に接続します。

注：USB 電源アダプターは付属していません。アクセサリの電源アダプターを購入するには、garmin.com の製品ページにアクセスしてください。

- デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続します（[ワイヤレスネットワークに接続する](#)、51 ページ）。

Wi-Fi ネットワークに接続されている間、デバイスは利用可能な更新がないか自動的にチェックし、利用可能な更新が見つかると通知を表示します。

- 次の中からオプションを選択します。

- 更新通知が表示されたら、画面の上部から下へスワイプし、**更新が利用可能です。**を選択します。
- 更新を手動でチェックするには、 > **デバイスについて** > **システムの更新**の順に選択します。

利用可能な地図とソフトウェアの更新が表示されます。更新が利用可能な場合は、**更新が利用可能**がマップまたはソフトウェアの下に表示されます。

- 次の中からオプションを選択します。

- 利用可能なすべての更新をインストールするには、**ダウンロード**を選択します。
- 地図のみをインストールするには、**マップ**を選択します。
- ソフトウェアのみをインストールするには、**ソフトウェア**を選択します。

- 必要に応じて、使用許諾契約を読み、**同意**を選択して使用許諾契約に同意します。

注：使用許諾契約に同意しない場合、拒否を選択できます。これにより、更新処理は停止します。使用許諾契約に同意するまで更新をインストールすることはできません。

- 更新処理が完了するまで、デバイスを外部電源に接続したままにして Wi-Fi ネットワークの範囲内に維持します。

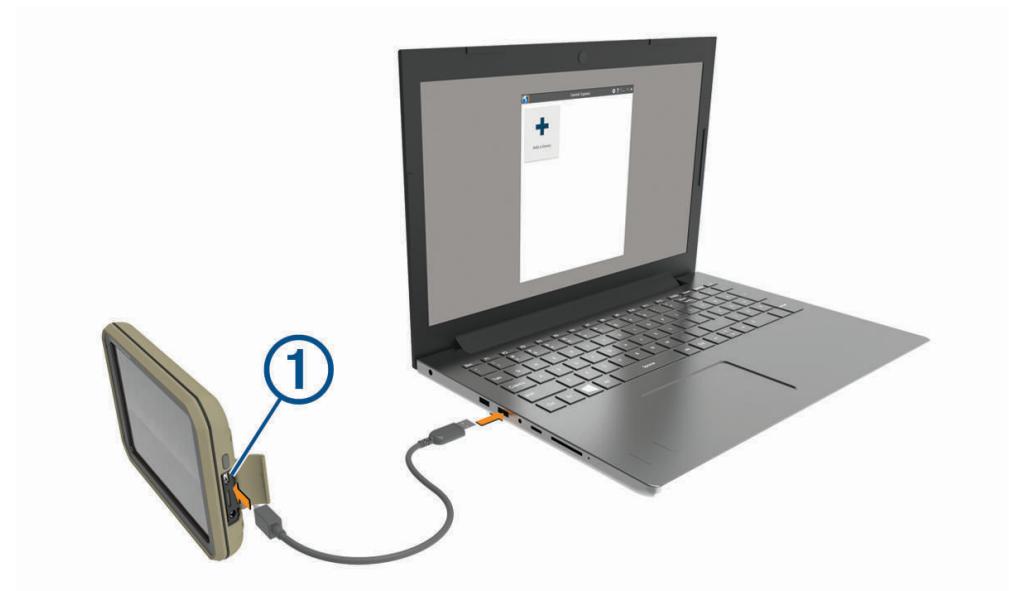
ヒント：地図の更新が中断したり、完了する前にキャンセルされたりした場合、デバイスの地図データが失われることがあります。失われた地図データを修復するには、地図をもう一度更新する必要があります。

Garmin Express による地図とソフトウェアの更新

Garmin Express アプリケーションを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図やソフトウェア更新をダウンロードしてインストールできます。

- コンピュータに Garmin Express アプリケーションがインストールされていない場合は、garmin.com/express にアクセスし、画面に表示される指示に従ってインストールします（[Garmin Express をインストールする](#)、56 ページ）。
-  Garmin Express アプリケーションを開きます。

- 3 micro-USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。
ケーブルの小さい方の端は Overlander デバイスの micro-USB ポート①に接続し、大きい方の端はコンピュータで利用できる USB ポートに接続します。



- 4 Garmin Express アプリケーションで、**デバイスの追加**をクリックします。
Garmin Express アプリケーションはデバイスを検索し、デバイス名とシリアル番号を表示します。
5 **デバイスの追加**をクリックし、画面に表示される指示に従って、ご使用のデバイスを Garmin Express アプリケーションに追加します。
セットアップが完了すると、Garmin Express アプリケーションにデバイスで利用できる更新が表示されます。



- 6 次の中からオプションを選択します。
- 利用可能なすべての更新をインストールするには、**すべてインストール**をクリックします。
 - 特定の更新をインストールするには、**詳細の表示**をクリックし、必要な更新の横にあるインストールをクリックします。
- Garmin Express アプリケーションがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。地図の更新は非常に大きく、インターネットの接続速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。
- 注:** 地図の更新がデバイスの内部ストレージに対して大きすぎる場合は、ソフトウェアで、microSD デバイスにカードを挿入してストレージ領域を追加するように求めるメッセージが表示される場合があります ([地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する](#), 65 ページ)。
- 7 更新処理中は画面上の指示に従って、更新のインストールを完了します。
たとえば、更新処理中、Garmin Express アプリケーションからデバイスを切断して再接続するように指示される場合があります。

Garmin Express をインストールする

Garmin Express アプリケーションは Windows® および Mac® コンピュータで利用できます。

- 1 コンピュータから garmin.com/express にアクセスします。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ システム要件を表示し、Garmin Express アプリケーションがコンピュータと互換性があることを確認するには、**システム要件**を選択します。
 - ・ Windows コンピュータにインストールするには、**ダウンロード (Windows)**を選択します。
 - ・ Mac コンピュータにインストールするには、**ダウンロード (Mac)**を選択します。
- 3 ダウンロードファイルを開き、画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。

デバイスのお手入れ

注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

デバイスを水に濡らさないでください。

外側ケースのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

- 1 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース（タッチスクリーン以外）を拭きます。
- 2 デバイスの湿気を拭き取ります。

タッチスクリーンのクリーニング

- 1 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。
- 2 必要に応じて、布を軽く湿らせます。
- 3 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。
- 4 力を入れずに画面を布で拭きます。

盗難防止

- ・ 使用しないときは、デバイスおよびマウントを見るところから取り外してください。
- ・ 吸着カップによって付いたフロントガラス上の汚れを取り除いてください。
- ・ ユニットをダッシュボードのグローブボックスに入れておかないでください。
- ・ Garmin Express ソフトウェアを使用してデバイスを登録します (garmin.com/express)。

車両電源ケーブルのヒューズを交換する

注記

ヒューズを交換する場合は、小さな部品をすべてなくさないようにし、それらを正しい場所に戻してください。車両電源ケーブルを誤って取り付けると、動作しません。

車両からデバイスに充電できない場合は、車両用アダプターの先端にあるヒューズの交換が必要な場合があります。

- 1 先端 ① を反時計回りに回して、ロック解除します。



ヒント：先端部の取り外しには、硬貨を使用する必要がある場合があります。

- 2 先端部、銀色のチップ ②、およびヒューズ ③ を取り外します。
- 3 1 A または 2 A など、同じ電流の新しい速断ヒューズを挿入します。
- 4 銀色のチップを先端部にはめます。
- 5 先端を押し込み、時計回りに回して、車両電源ケーブル ④ にロックします。

デバイスをリセットする

デバイスが動作を停止した場合は、リセットできます。

電源キーを 12 秒間押し続けます。

デバイス、マウント、吸着カップを取り外す

吸着カップからマウントを取り外す

- 1 デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- 2 マウントのソケットから吸着カップのボールが外れるまで力を掛けます。

フロントガラスから吸着カップを取り外す

- 1 吸着カップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着カップのつまみを自分の方に引きます。

トラブルシューティング

吸盤がフロントガラスに取り付けられない

- 1 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。
- 2 乾燥した清潔な布で乾かします。
- 3 吸盤を取り付けます (車両へのデバイスの取り付けと電源の供給, 3 ページ)。

運転中にマウントでデバイスが所定の位置に保持されない

最善の結果を得るには、車両マウントをきれいな状態に保ち、デバイスを吸盤の近くに配置します。

運転中にデバイスの位置が動く場合は、以下の操作を実行してください。

- 電源に接続されたマウントを吸盤アームから取り外し、ボールとソケットを布で拭きます。
ほこりなどの異物が入ると、ボールとソケットジョイントとの摩擦が減り、運転中にジョイントが動きます。
- ヒンジ付きのアームを、フロントガラスの角度で可能な限り吸盤に向けて回転させます。
デバイスをフロントガラスの近くに置くと、道路からの揺れや振動の影響が軽減されます。

デバイスで衛星信号を受信できない

- 位置情報サービスが有効になっていることを確認します。
- 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離れた場所へ移動してください。
- 数分間静止したままにします。

デバイスを車両で充電できない

- 車両電源ケーブルのヒューズを点検します ([車両電源ケーブルのヒューズを交換する, 57 ページ](#))。
- 車両のイグニッションがオンになっており、電源コンセントに電気が流れていることを確認します。
- 車内温度が仕様で指定されている充電温度範囲内であることを確認します。
- 車両の電源コンセントのヒューズが切れていないことを確認します。

充電しても電池の電力が長持ちしない

- 画面の輝度を下げます ([ディスプレイ設定, 51 ページ](#))。
- ディスプレイのタイムアウトを短くします ([ディスプレイ設定, 51 ページ](#))。
- 音量を下げます ([サウンドと通知の音量を調整する, 52 ページ](#))。
- 使用しないときは、Wi-Fi 無線をオフにします ([ワイヤレスネットワークに接続する, 51 ページ](#))。
- 使用しないときは、デバイスを省電力モードにします ([デバイスの電源をオンまたはオフにする, 6 ページ](#))。
- デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

デバイスがスマートフォンに接続されません

-  > **Bluetooth** の順に選択します。
[Bluetooth] オプションを有効にする必要があります。
- スマートフォンで Bluetooth 無線の設定を有効にし、デバイスから 10m (33 ft.) 以内の範囲に電話を持っています。
- お使いのスマートフォンが対応していることを確認します。
詳細については、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。
- ペアリングプロセスを再度完了します。
ペアリングプロセスを繰り返すには、スマートフォンとデバイスのペアリングを解除して ([ペアリングした電話を削除する, 40 ページ](#))、ペアリングプロセスを完了する必要があります。

付録

Garmin PowerSwitch

△ 警告

Garmin 装置の設置は、電気機器に関する適切な知識を持つた、経験豊富な技術者が行うことを強くお勧めします。電源ケーブルの配線を誤ると、車両やバッテリーを破損し、怪我の原因になる可能性があります。

接続された Garmin PowerSwitch デバイスを使用すると、Overlander デバイスから照明、ファンなどを制御できます。

取り付けに関する注意事項

- デバイスは、バッテリーの近くでかつ付属の電源ケーブルの範囲内に取り付ける必要があります。
- 取り付け面は、デバイスの重量を支えるのに十分な強度が必要です。
- 取り付ける場所には、すべてのケーブルの配線と接続のために十分な空間が必要です。

デバイスの取り付け

デバイスを取り付ける前に取り付け位置を選択し、取り付け面に適したハードウェアを購入する必要があります。

注記

車両にパイロット穴を開け、マウントを取り付けるときには、ワイヤ、計器、エアバッグ、エアバッグカバー、HVAC などは避けてください。Garmin は、取り付けによって生じた損害や結果については一切責任を負いません。

- 選択した場所にマウントを配置します。



- マウントをテンプレートとして使用し、2箇所のネジ位置 ① に印を付けます。
- パイロットホールを開けます（オプション）。
- 一部のタイプの取り付け材質では、パイロットホールをドリルで開ける必要があります。マウント越しにドリルを使わないでください。
- 取り付け面に適したハードウェアを使用して、マウントを表面にしっかりと固定します。

前面カバーを開く

電気接続を行うには、前面カバーを開く必要があります。

- 1 前面カバーラッチ①を持ち上げ、反時計回りに回します。



- 2 前面カバーをデバイスから引き出します。



アクセサリーの接続

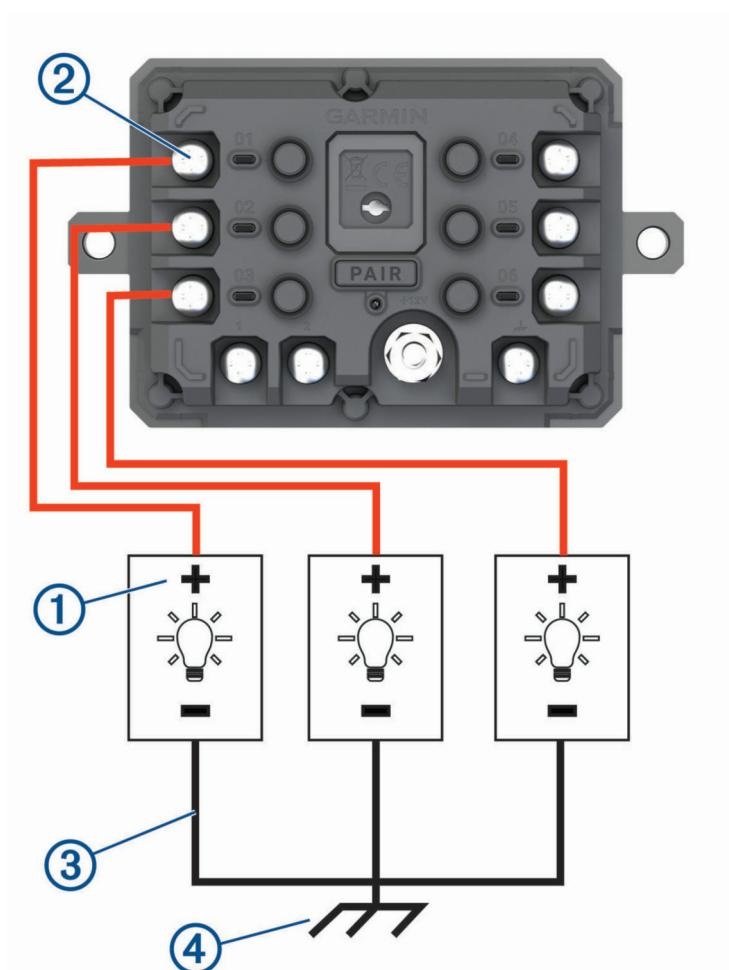
注記

ウインチの制御や電源供給にデバイスを使用しないでください。この注記に従わないと、車両またはデバイスが損傷することがあります。

アクセサリーの要件

- Garmin PowerSwitch デバイスに配線する前に、各アクセサリーの定格アンペアを確認してください。このデバイスは、各チャンネルで最大 30 A、システム全体で最大 100 A のアクセサリーに対応しています。
- 20 ~ 30 A を使用するアクセサリーには、10 AWG (6 mm²) の配線を使用します。
- 10 ~ 20 A を使用するアクセサリーには、12 AWG (4 mm²) の配線を使用します。
- 10 A 未満を使用するアクセサリーには、14 AWG (2.5 mm²) の配線を使用します。
- すべてのアクセサリー接続には適切なサイズの端子を使用します。
- すべての端子コネクターをしっかりと圧着します。

- 1 アクセサリー ① のプラス線を Garmin PowerSwitch デバイスのアクセサリー端子 ② のいずれかに接続します。



- 2 マイナス線またはアース線 ③ を車両フレームの塗装されていないアーススタッド ④ に、アース供給プロックに、またはバッテリーのマイナス端子に直接接続します。

注記

アクセサリーアース線を Garmin PowerSwitch デバイスのアース端子 (GND) に接続しないでください。この注記に従わないと、人的損害や物的損害が発生したり、デバイスの機能に悪影響を及ぼすことがあります。

- 3 すべての電気接続がしっかりと締め付けられていることを確認し、使用中に緩まないようにしてください。

制御入力の接続

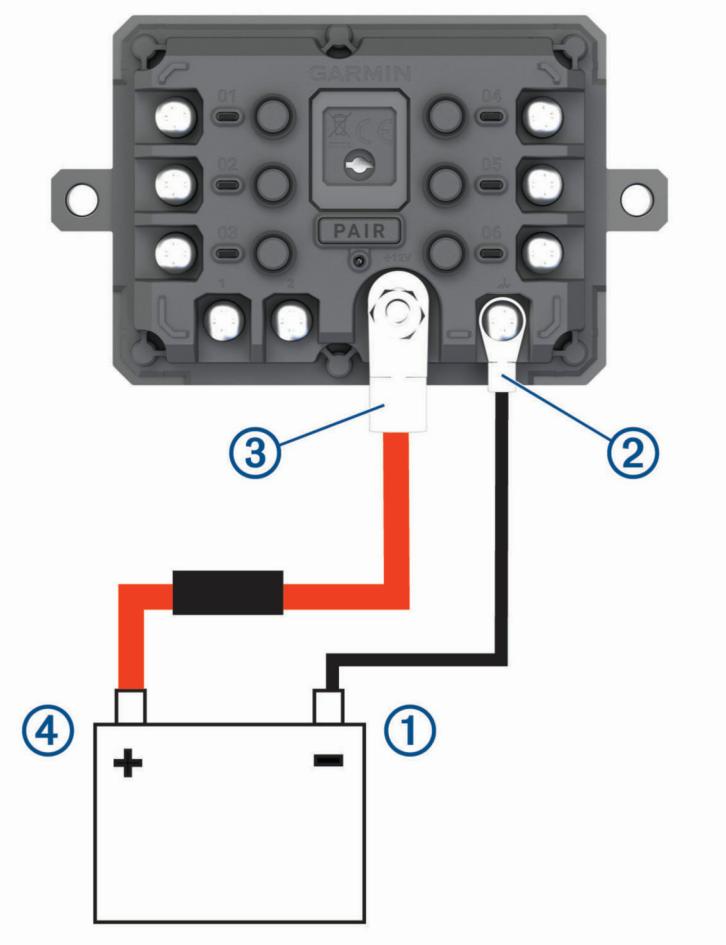
制御端末に接続して Garmin PowerSwitch デバイスを有効にすると、カスタマイズ可能な出力をオンにできます。たとえば、車両のイグニッションスイッチを制御入力端子に接続すると、車両を始動するたびにアクセサリーを自動的にオンにすることができます。制御端子は、3.3 V~18 V の信号を検出します。Garmin PowerSwitch アプリを使用して出力機能を構成できます。

車両の制御ソースからの制御線を Garmin PowerSwitch デバイスの 2 つの制御端子のいずれかに接続します。

デバイスを車両電源に接続する

デバイスを車両の電源に接続する前に、デバイスの+12V 端子から警告タグを取り外す必要があります。すべての電気接続が確実に固定され、デバイスの操作中に緩まないことを必ず確認してください。

- 1 同梱されているアース線 ① の大きいリング側を車両バッテリーのマイナス端子に接続します。



- 2 アース線の小さいリング側をデバイスの GND 端子 ② に接続します。
- 3 付属の 12V ケーブルの小さいリング側をデバイスの+12V 端子 ③ に接続します。
- 4 +12V 端子の $\frac{3}{8}$ in. ナットを最大トルク仕様 4.52 N·m (40 lbf-in.) で締め付けます。
ナットは手で緩めることができないことを確認する必要があります。

注記

端子の損傷を防ぐため、+12V 端子を締めすぎないでください。

- 5 12V ケーブル ④ の大きいリング側を車両バッテリーのプラス端子に接続します。

Garmin ナビゲーションデバイスとのペアリング

Garmin PowerSwitch デバイスを互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングできます。

- 1 Garmin PowerSwitch デバイスの電源を入れ、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスをデバイスから 1 m (3.3 ft.) 以内に配置します。
 - 2 互換性のあるナビゲーションデバイスで、Garmin PowerSwitch アプリを開きます。
 - 3 画面上の指示に従って、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。
- メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

Garmin PowerSwitch 仕様

寸法 (奥行き × 幅 × 高さ)	75 × 125 × 32 mm (2.95 × 4.92 × 1.26 in.)
動作温度範囲	-25° ~ 85°C (-13° ~ 185°F)
無線周波数	2.4 GHz @ 15 dBm
電源入力	付属の車両電源ケーブルを使用して 12 ~ 16 V。
最大アクセサリ出力	30 A
最大システム出力	100 A
すべての出力をオフにした状態での電流引き込み	3 mA
防水等級	IEC 60529 IPX7 ¹

トラブルシューティング

自分の Garmin PowerSwitch が接続したままになりません

- Garmin PowerSwitch デバイスが受電していることを確認します。
- ペアリングしたナビゲーションデバイスまたはスマートフォンで Bluetooth テクノロジーが有効になっていることを確認します。
- ナビゲーションデバイスまたはスマートフォンをご自分の Garmin PowerSwitch デバイスに近づけます。
- 車両のバッテリーが 12 V 以上の電力を供給していることを確認します。

供給電力が 11 V 未満の場合、車両のバッテリーを保持するため、Garmin PowerSwitch デバイスはすべての出力を自動的にオフにします (アクセサリに電力が供給されていません、63 ページ)。

アクセサリに電力が供給されていません

- Garmin PowerSwitch デバイスが車両バッテリーから電力を供給されていることを確認します。
- 車両のバッテリーが 12 V 以上の電力を供給していることを確認します。
11 V 未満の電力を受信している場合、Garmin PowerSwitch デバイスはすべての出力を自動的にオフにして、車両のバッテリーを保持します。出力は、デバイスが 12 V を超える電力を検出するとオンに戻ります。
- 全ての電気接続が確実に固定されていることを確認し、走行中に緩むことがないようにします。
- 接続されている各アクセサリーの消費電力が 30 A 未満であることを確認します。
アクセサリーの消費電力が 30 A を超えると、デバイスはその出力を自動的にオフにします。
- システム全体の消費電力が 100 A 未満であることを確認します。
100 A を超えるシステムの消費電力を検出すると、すべての出力が自動的にオフになります。
- すべての電気接続に短絡がないか点検します。

バックアップカメラ

接続された 1 台以上のバックアップカメラからのビデオフィードをデバイスに表示できます。

¹ このデバイスは水深 1 m、30 分までの偶発的な水没に耐える防水性能を備えています。詳細については、www.garmin.com/waterrating を参照してください。

BC™ 35 バックアップカメラと Garmin ナビゲーションデバイスをペアリングする

カメラに接続する前に、Garmin ナビゲーションデバイスで Wi-Fi 設定を有効にする必要があります。

BC 35 ワイヤレスバックアップカメラは、Android™ を搭載した一部の Garmin ナビゲーションデバイスと互換性があります。デバイスの互換性について詳しくは、garmin.com/bc35 を参照してください。

最大 4 台の BC 35 ワイヤレスバックアップカメラを、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングできます。

1 ナビゲーションデバイスを最新のソフトウェアに更新します。

デバイスは最新のソフトウェアがインストールされていない BC 35 カメラをサポートしない場合があります。更新について詳しくは、ナビゲーションデバイスのマニュアルを参照してください。

2 Garmin ナビゲーションデバイスの電源をオンにし、カメラから 3 m (10 ft.) 以内の範囲に移動します。

3 > リアビューを選択します。

4 次の中からオプションを選択します。

- ナビゲーションデバイスに接続する最初のカメラの場合は、新しいカメラの追加を選択します。
- ナビゲーションデバイスに接続する追加のカメラの場合は、⋮ > カメラを選択 > 新しいカメラの追加を選択します。

5 画面に表示される手順に従います。

注：ペアリングコードまたはパスワードは、送信機またはカメラに記載されています。

最初のカメラとのペアリングプロセスが完了すると、Garmin ナビゲーションデバイスに自動的に接続されます。

バックアップカメラを表示する

⚠️ 警告

このデバイスの目的は、適切な使用時に、状況を認識する能力を高めることです。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。デバイスに表示された情報を、凝視しないようにしてください。周囲の状況に常に気を配るようにして、ディスプレイを見つめたり、ディスプレイに気を取られたりしないでください。ディスプレイに意識を向けると、障害物や危険物を見落とすことがあります。

カメラを電源にどのように接続するかによって、接続されているバックアップカメラからのビデオが、デバイスにどう表示されるかが異なります。

1 オプションを選択して、ビデオを表示します。

- カメラがリバースランプに接続されている場合（推奨）、車両のギアをバックに入れます。バックアップカメラからのビデオがデバイスに自動的に表示されます。
- カメラが安定した電源に接続されている場合、手動でカメラを表示するには、 >  リアビューを選択します。

2 オプションを選択して、デバイスを通常の動作に戻します。

- カメラがリバースランプに接続されている場合（推奨）、車両のギアをバック以外に入れます。デバイスは自動的に通常の動作に戻ります。
- トランスミッタが安定した電源に接続されている場合、手動でカメラを非表示にするには、👉 を選択します。

カメラを切り替える

複数のバックアップカメラが、デバイスに情報を送信している場合、それらのカメラの画像を切り替えることができます。

1 > リアビューを選択します。

2 ⋮ > カメラを選択の順に選択します。

3 カメラを選択します。

カメラのビデオフィードが表示され、画面の上部にカメラの名前が表示されます。

カメラの向きの変更

カメラの車両上の設置場所によっては、映像がデフォルトで上下逆、または左右が逆になる場合があります。映像を水平方向に回転したり、垂直方向に反転して修正できます。

- 1  >  > リアビュー >  > 設定を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ビデオの回転を選択します。
注：これは、カメラを車両の前後に設置した場合に役立ちます。
 - ・ ビデオを反転を選択します。
注：これは、カメラを車両の両サイドに設置した場合に役立ちます。

ワイヤレスディスプレイに接続する

デバイスの画面の内容を、互換性のある外部ディスプレイに表示できます。

- 1 デバイスをワイヤレスディスプレイの近くに移動します。
- 2  > 表示 > キャストの順に選択します。
- 3 ワイヤレスディスプレイを選択します。
- 4 必要に応じて PIN を入力します。

データ管理

ファイルをデバイスに保存できます。デバイスには、データストレージを追加できるメモリカードスロットがあります。

注：このデバイスは Windows 7 以降、および Mac OS 10.4 以降に対応しています。Mac コンピュータは、Android デバイス上のファイルを読み書きするのに追加のサードパーティソフトウェアを必要とする場合があります。

メモリカードについて

家電販売店からメモリカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア (www.garmin.com) を購入できます。メモリカードを使用すると、地図やカスタム POI などのファイルを保存できます。

地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する

メモリーカードを挿入して、デバイスの地図やその他のデータの記憶容量を増やすことができます。メモリーカードは家電販売店で購入できます。このデバイスは、4 ~ 256 GB の microSD メモリーカードに対応しています。メモリーカードは FAT32 ファイルシステムフォーマットを使用している必要があります。32 GB を超えるメモリーカードは、デバイスを使用してフォーマットする必要があります ([メモリーカードのフォーマット](#), 65 ページ)。

- 1 デバイスの地図およびデータメモリーカードスロットの場所を確認します ([デバイスの概要](#), 1 ページ)。
- 2 メモリカードをスロットに挿します。
- 3 カチッと音がするまで押し込んでください。

メモリーカードのフォーマット

デバイスには、FAT32 ファイルシステムでフォーマットしたメモリーカードが必要です。デバイスを使用すると、このファイルシステムでカードをフォーマットできます。

新品のメモリーカードは、FAT32 ファイルシステムでフォーマットされていない場合はフォーマットする必要があります。

注：メモリーカードをフォーマットすると、カード上のデータがすべて削除されます。

- 1  > ストレージと USB の順に選択します。
- 2 メモリーカードを選択します。
- 3  > 設定 > フォーマット > 消去してフォーマットの順に選択します。
- 4 OKを選択します。

デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。
- 2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

コンピュータからデータを転送する

- 1 デバイスをコンピュータに接続します（[デバイスをコンピュータに接続する, 66 ページ](#)）。
- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 [編集] > [コピー] の順に選択します。
- 5 デバイス上のフォルダを参照します。
注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。
- 6 [編集] > [貼り付け] の順に選択します。

追加の地図を購入する

- 1 [garmin.com](#) のデバイス製品ページにアクセスします。
- 2 [マップ] タブをクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従います。

アクセサリーを購入する

[garmin.com/accessories](#) にアクセスします。

support.garmin.com

